

13. 1. 28

業 鑛 炭 石

# 報 會 助 互

號 一 第 · 卷 三 第

行 發 日 十 二 月 一 年 三 十 和 昭

筑 豐 鑛 山 學 校

社 團 筑 豐 石 炭 鑛 業 會

昭和十二年四月七日第三種郵便物認可  
昭和十三年一月十七日印刷  
昭和十三年一月二十日發行

## 目 次

大亞細亞主義を實現せよ(卷頭言).....	鳴上辰之助	(一)
年頭の辭.....	野上辰之助	(二)
非常時新年を迎へ鑛業報國に邁進せよ.....	武内禮藏	(三)
石炭鑛業の國家的奉仕實現.....	松尾三藏	(四)
年頭に際して.....	竹内可吉	(五)
非常時年頭所感.....	堀内義臣	(六)
昭和十三年の炭界打診.....	古田慶三	(七)
本會記事.....		
故金丸會長葬儀.....		(八)
重役會、理事會、新入會紹介.....		(九)
第二回鑛業報國運動強調週間に對する副會長の挨拶.....		(一〇)
鑛夫の雇傭勞役に關する講演.....	坂本行敬	(一一)
日銀卸賣物價續騰.....		(一二)
石炭船運賃.....		(一三)
時の言葉註解.....		(一四)
石炭業法要綱其他.....		(一五)
報 錄.....		
地下の勞働に女鑛夫愈々再現其他.....	(福岡鑛山監督局管内)	(一六)
石炭鑛業權設定.....		(一七)
五助會文藝.....		(一八)
炭界日誌.....		(一九)

一 月 號

行 發 會 助 互 業 鑛 炭 石

謹賀新年

東邦電力株式會社

九州水力電氣株式會社

九州電氣軌道株式會社

試筆



若松 杉山 響洋



—◁ 言 頭 卷 ▷—

大亞細亞主義を實現せよ

地軸一轉して茲に皇紀を閲すること正に二千五百九十八年、昭和聖代に入りて既に第十三年の新春を迎ふ。

仰ぎ見れば、上には萬邦無比、萬世一系、金甌無缺の聖君を戴き、竹の園生に瑞雲棚引く、皇室の彌榮は我等一億の赤子の欣喜措く能はざる所である。

伏して見れば、神武天皇の御東征以來、未だかつて外國の侮を受けたることなき國土に、三千年來傳統的に涵養せられたる忠勇義烈なる國民が、致々營々として明日への建設にいそしんでゐる。

一年の計は元且にある。今年の新春元且は青空に一點の雲もなく、太陽の東天に昇るや瑞光燦として東亞の天地に強き光と溫き熱とを與ふ。洵に今次事變の大目的大理想たる東亞永遠の平和實現を約束するが如し今年こそは支那事變最終解決の鍵を確保せねばならぬ。昨年七月七日蘆溝橋事件以來征戰半歲、戰果大に擧り、北支は固より中南支にも防共親日の新政權生れつゝあり。是等を誘掖指導して、茲に日滿支三國の完全なる親善提携を確立、我が日本が盟主となり、大亞細亞主義を萬天下に宣言すべきである。

併し乍ら、古來馬上天下を取るは易く、馬上天下を治むるは難しと謂ふ。換言すれば破壊は易く建設は難しいのである。吾人は新春を契機として、より大なる決心と覺悟とを以て、この大理想に邁進すべきである

(鳴濤)



## 年頭の辭

互助會副會長 野上辰之助

鶏鳴晨を告げて、茲に昭和十三年戦捷の元旦を迎ふ。朝來青空に一點の雲なく、瑞光ほがらかなる東都の空を望むで萬世一系の寶祚窮まりなき我が皇室の彌榮えます御事、謹み畏みて、國運の益々隆昌と日獨伊三國防共協定の強化により國防の確立、支那事變の著るしき戦捷、抗日容共分子の殲滅愈々繁く敵の首都にして難攻不落を以て誇る彼の南京も、何時しか日章旗の下に是を制壓し、内に在りては國民精神總動員又は銃後に於ける盡忠報國運動に全力を傾注し、茲に歴史的新春を迎へたるは、洵に同慶欣賀に堪へざる次第なり。

顧るに支那事變發生後僅か五ヶ月、北支は固より中南支に亘つて全面的に進軍又進軍、現下の動向は英ソ等種々なる策動を敢てし、東洋平和の確立、文化の進展に一矢を向けんとする險惡なる情勢にあり、寸毫も忽にするを許さず、勝て兜の緒を締め、益々内外共に緊張を要するものあり、これが動勢と相俟て、現下社會經濟機構、財界の變動は漸次複雑且つ多岐に亘り、國防軍事豫算の膨脹を餘儀なくし、延いては増税の止むなき動因となり、吾人商工業者の經營に著しき變化を招來し洵に業者をして時局の認識を深からしめ、且つ自覺を促すものあり。眞に非常時体制を体得せしむ

るものにして、業者の苦心の跡歴然たるものあり。その勞苦察するに餘りありと謂ふべく、翻つて異郷に酷寒と戦ひ警備に或は戦闘に従軍せる皇軍將士の苦境を惟ふ時、唯々國難克服の事態を体し一層の奮起以て生業に精進し、常に困苦缺乏に耐へ得る自覺を肝要とす。

然るに今や太陽の將に西山に没せんとする彼蔣介石は、中華民國臨時政府の成立を看たるにも拘らず、猶其の蔭に潜み、之を操る英ソ米佛の抱込に全力をあげて汲々たり、ために政府に於ては、對支新方針を樹立し、全支の我が權益確保を全からしめんとし、情勢は愈々緊密の度を加へつゝあり、よりに之に對處する商工業者は商工報國の誠を以て、長期事變に堪へ得る信念と且つ覺悟を以て、銃後の護りを固むべく邁進せざるべからず。

偕て現戦時体制下に於ける北九州筑豊炭田一帯は、事變勃發と共に、急激に軍需工業は固より各種工鑛業の隆昌、商取引の著しき殷盛を極めつゝあり。殊に各種産業の原動力たる石炭鑛業の國家的使命は實に重且つ大にして、鑛主も全従業員も打つて一丸となり、鑛業報國精神を昂揚して、銃後を固むる産業戦士として奉公の誠をいたすべく努力すべきである。又一面事變が長引けば長引くだけ、増税の重課、消費節約運動の徹底又は各種工鑛業の原料不足等により、商工業者に多大の打撃を與へつゝあれども、この未曾有の國難に直面せる今日、全國民は協力一致、非常時打開の本義に則り、敢然としてこれに善處し、その重責を果すべく一層奮勵努力、邦家のため貢獻するの覺悟を以て、新春の計を建てざるべからざるなり。



## 非常時新年を迎へ 鑛業報國に邁進せよ

互助會石炭株式會社  
專務取締役 武内禮藏

茲に昭和十三年の輝かしき戦捷の新年を迎ふ。

萬邦に冠絶する我が國體は、皇室の彌榮に榮へますことによつて光輝一段と加はるものがある。我等は一億同胞と共に聖壽の萬歳を壽ぎ奉り、新春の燦光を仰ぎつゝ國運の益々隆昌ならんこと祈るは、洵に無上の欣幸とするところである。顧るに、昨年七月七日蘆溝橋事件勃發するや、忠勇無双の皇軍は膺懲の師を北支の山野に、上海の衝路に進め、僅々四閱月にして國際都上海を陥れ、連戦連捷を以て歳の瀬逼る十二月十日、遂に敵の首都南京城頭高く日章旗を褻し、世界戦史上特筆大書すべき一頁を飾り、將兵の意氣天を衝くの概あり、征戰半歳、戦果大に擧がり、北支は固より中南支の占領各地に於て、抗日政策を一擲し我と協調せんとする親日新政權の萌芽藜々として見るべきものあり。

然し乍ら、新年劈頭の問題は、この荒ごなしに地均しされた地盤の上に如何にして建設工作を進めるかにある。支那事變の第二期ともいふべき建設時期は、新年と共に其の幕が開かれたのであるが、こゝに最大の問題は、第一期の破壊工作が猶ほ充分ならざるに、局面のみは既に進んで第二期工作に這入つたことだ。之を唯一の弱點と見て蔣介石一派の國民政府は、其の陣容の建直しに狂奔し、ゲリラ戰術を以て所謂長期抗戰の叫びを擧げつゝあるのである。是れ即ち吾人は一大

決心を求め持久の覺悟を促すものでなくて何であらう。夫れと共に國際政局は一段の緊迫と正に嵐を呼ばんとする形勢を醸成しつゝあるのである。實に我が日本がこの世界的使命を達せん爲には、今後により多大の困難を覺悟すべきでありこの困難を斷乎として突破する確き信念と強大なる國力を必要とするのである。

近代戰爭は國力戰である。その中心的要素は一國經濟の計畫的体系である。戰爭といふ一つの目的に統一づけられた國家經濟の活動である。それによる現存資源の合理的にして完全なる利用である。これなくしては如何なる武器の優秀も、戰闘力の卓抜も、又は國民精神力の旺盛もその充分なる効果を擧ぐることは困難であらう。惟ふてこゝに至れば、現下に於ける産業人の責務たるや實に重且つ大なりと謂ふべきである。

殊に鑛業の重要性は決定的である。石炭、石油、金、銅、鐵、ニッケル等如何なる一つを缺くと雖も戰爭の效果的遂行は不可能である。今や我が鑛業界も完全に戰爭といふ一大目標に規制され、從屬せしめられねばならない、單なる營利事業の埒を越へて、統一ある國家的活動の一要素とならねばならぬ、事變前より計畫され來つた業界各種の統制は、事變を契機として急に具体化し強化された、産金法、産銅一元統制、石炭業法案等々盡く戰時經濟の強化化を目指すものである。斯の如き情勢下において、我國石炭界は近年稀なる異常の活況を呈したるも、如何せん種々の惡條件に束縛され、炭價は昂騰すれども石炭不足の聲は四方に浴き情態である。其の主因として認むべきは坑夫難、諸材料の激騰、輸送機關の不足等により山元の出炭、送炭意の如くならざりしに外ならないのである。

今や非常時局に直面せる我が石炭界は、全産業の原動力として重大なる役割を課せられ本年の炭界は前年にも増して多事ならんとしてゐる。我等石炭鑛業に従事するものは、須らく統後の護を堅め協力一致鑛業報國に勇往邁進すべきである

# 石炭鑛業の國家的奉仕實現

衆議院議員 松尾三藏

顧みるに昭和十二年は建國以來未曾有の大國難に遭遇し吾々日本國民として忘れんとするも永久に忘れ得ざる事多端の年でありました。

支那事變の勃發は吾々國民をして層一層緊張の度を高からしめ舉國一致暴戾極まりなき支那軍閥を徹底的に膺懲せんが爲めに吾皇軍諸士は北支又は中南支に國防の第一線にたち銃後の護りは益々強固に皇軍の向ふところ敵なく事變は未解決なれども既に南京政府は没落し國內舉げて戰勝氣分漲る中に尤も意義深き昭和十三年の新春を迎へましたる事は誠に慶賀至極と存じます。

惟ふに昨年七月七日の蘆溝橋事件は東洋平和擲亂の導火線となり曾ては吾帝國の盟友たりし英國又はソヴェト聯邦の如きは陰に支那軍閥政府を擁護せんとするの傾向甚だしく刻下の現状は單なる支那一ヶ國との戦ひにあらず世界の二大強國と一戦を交へずんば東洋平和永遠の確立は最早不可能と迄に逼迫するの感が致すのであります。

而て第一線に立ち酷暑酷暑を物ともせず戦ふ勇士の心中を思ひ幾多貴き犠牲者の事を思ひ浮べる時只々感謝と感激に咽ぶのみであります。かゝるが故に吾々國民は年更ると共に一段の緊張と必死の覺悟を以つて國難打開に邁進せねばならない事を深く痛感致すものであります。

而して事變の擴大は中堅稼働者の出征者多く各種産業界の勞力不足は勿論殊に軍需工業と不可分の立場にある石炭採掘

事業の上に著しく現れその結果毎月數十萬噸の出炭減少を來しつゝある現状であります。かゝる事態は國家的見地から一日も忽がせにするべき事にあらず、国防上一大支障を來すおそれがあると憂慮するものであります。

故に私はこの重大問題解消の手段とし曩の七十一議會に於て建議致しました婦女子入坑並に深夜業禁止法の暫定的猶豫を實現致したき心願であり爾來石炭鑛業互助會は勿論石炭鑛業聯合會も俱に政府當局に向つて同案貫徹の爲め今日迄猛運動を續けて來る一人であります。

その結果政府要路者間には大體の了解を得たるが如き觀あるも未だ社會の了解ならず石炭需要期に直面し著るしき出炭減少を來し各炭礦は稼働者雇ひ入れに血みどろの状態であり特に稼働者争奪戦を展開するの現状なるも猶且つ稼働者は皆無の状態である。

依つてこの問題解決の爲本七十三議會には從來の運動に一段の拍車をかけ是非共目的の貫徹を圖り軍需工業と不可分の關係にある石炭採掘事業の國家的奉仕を實現し以つて我皇軍の威力を益々發揮せしめ東洋平和永遠の確立を期せんと希ふ次第であります。

## 年頭に際して

燃料局長官 竹内可吉

○液體燃料の必要性は文化の發達、科學の進歩に伴ひ戦時においては飛行機、戦車、軍用自動車、軍艦等に平時においては各種産業の動力として自動車その他交通機關に近代國家の焔熱せる今日においては不可缺な要素であると同時にその必

需性は益々増加の趨勢にあることは一般國民が既に熟知せるところである。

○翻つて我國の現状如何と云ふに現今の資源分布は吾國に全く浴せず内外地を通じて産出する石油は吾國全需要に對して僅かに八%を充すに過ぎず、殆ど大部分を輸入に俟たなければならぬ現狀であり、これがために要する海外支拂ひ金額は年に二億圓に達し國債貸借上國防上甚だ寒心すべき狀態にあるので液體燃料自給促進策の確立は刻下の急務となつてゐる、しからば如何なる方策に依るを最上とするかと云へば、先づ燃料費の節約、代用燃料の奨励、國內資源の開發、人造石油事業の確立にある、即ち燃料消費の節約は平時は暫らく置くとしても今日の如く有時の際にあつては一日も忽諸に出來ない問題であり、これが勵行に依つて輸入量を減少し以て海外支拂ひの輕減を計ると同時に軍用燃料に圓滑なる供給を計る必要がある。之が具體策としては乗合路線の單一化圓クク流しの禁止或は代用燃料への轉換等が考慮されてゐる

○代用燃料としては無水アルコールの混用が本年度内に實施を見ることとなつてをりその他メタノールペンゾール天然ガス等の混用或は木炭ガス發生爐の普及等があり更に進んで人造石油事業の確立である。

○人造石油製造については七箇年計畫を以て揮發油重油二百萬疋の生産計畫を樹立し、これがためには人造石油事業法を施行帝國燃料興業株式會社の設立と依り一意目的達成に向ふこととなつてゐる。

○内地油田の開發は既に海外資源の大部が他諸國の所屬となつてゐる現狀に鑑み、先づこれが實現を期し以つて資源の擴張を計るの要がある。

○以上の諸政策の殆どは吾國最初の事業多く且つ技術的にも尙研究の餘地と多大の困難を豫想されるもこれを克服して諸政策の達成に邁進するが獨り政府の力のみを以てしては、尙不十分であり、ために國民の燃料報國と相俟つて官民一致相協力を期待するところである。

## 非常時年頭所感

福岡鑛山監督局長 堀 義 臣



最近數年間に於いて平和體制より漸次準戰時體制へ推移しつゝあつた我國經濟界は、昨年勃發した支那事變によつて一躍して眞正の意味に於ける戰時體制へと移行することゝなつた。この經濟界の戰時體制化は國家總動員の一部としての經濟人の總動員を意味するものである。

凡そ、近代戰は斷じて單なる兵力戰ではない。それは實に、全力を擧げての戰爭であり、特に經濟戰である。もとより近代戰はその高度の科學戰であるといふ點に於ても往時の戰爭とは非常な差異を有するものなることを否認せんとするものではない。併し、吾々の今こゝに注目せんとするものはこの科學戰に必要な資材を供給する國家の經濟力であり、謂はゞ近代戰の背後にあつて之が地盤となつてゐる經濟觀線の整備である國家の經濟力を境加し經濟戰線を整備するためには、我國經濟界の各方面に涉つて國家的見地よりする再檢討が試みられなければならない。この事たる、平時に於ける經濟體制は必ずしも戰爭目的遂行上遺憾なきを保し難いことから考へて

蓋し當然の事理である。而も經濟界の再検討は、現下の時局に鑑み最も急を要する問題と謂はなければならぬのであつて、經濟人はその夫れ々の立場に於いて自己の全能力を傾倒して國家に對し經濟的貢獻を敢行することを要請せられてゐるのである。

一體鑛業が國家産業就中工業に對しその基礎たる地位を占めて居り、一國の工業の興隆が基礎工業としての鑛業の伸張に負ふ所極めて大なるものがあることは、恐らく何人と雖も之を認容せざるを得ない所であらう。

隨つて鑛業に従事する經濟人は、産業の原動力を供給し材料を提供するものとしての鑛業の重要性を充分に認識しその非常時的編成替に就いて減私奉公の赤心を披瀝して努力すべき責務を課せられてゐるものと謂はなければならぬのである。こゝに鑛業界に於いて現在最も注目せられてゐる一、二の問題を取り上げて若干の考察を試み特に關係者の注意を喚起することゝしやう。

## 二

石炭鑛業が我國鑛業の大宗であり、その年産價額は總産價額の約六割を占めてゐることに就いては、こゝに更めて述べる必要を見ないのであるが、此の石炭は現今最も基礎的且つ普遍的燃料であつて、熱源又は動力源としてその王座を占めてゐるのである。加之石炭が各種軍需工業の原動力を補給するものとして戦争の遂行上缺くべからざる重要産業であり今日軍の作戦資材中其の原料を石炭に仰いでゐるものは決して少くなく爆薬、消毒藥品、煙幕、毒瓦斯等殆んど枚擧に遑ない程であることに想到し、殊に戦時に於いて必要とせられる液體燃料の原料としての石炭の重要性に至つては石炭資源に恵まれぬ我國に於て最も大なるものあること疑を容れぬことを考へ合はせれば、石炭の現在及び將來に於ける重要性は刮目すべきものがあると謂はねばならぬ。昭和十二年度に於ける石炭需要豫想高が昭和八年度の需要高に比し實に四割四分の激増を示し、特に重工業方面に向けられたものに於いて四百餘萬噸化學工業方面へ向けられたものに於いて三百六十餘萬

噸の大量増加を見せてゐるのも、斯くして充分首肯し得るのである。

然るに近時の管内石炭鑛業界の大勢を觀るに其の現在の需要を充足するに汲々たる現狀にあるのみならず技術及従業員之の不足と操業能率及稼働率の低下により出炭高減少の傾向すら漸く顯著ならんとしつゝある。

斯かる有様では、非常時局に於ける經濟戦線の整備の必要性に鑑み、又戦局の進展と共に増大して行く石炭の需要の勢ひに察し邦家の爲深く之を憂へなければならぬ所であつて、予は此の際非常時産業戦線の戦士として石炭鑛業戦線の第一線に立つて活動せられてゐる事業主及従業員各位が緊蹕一番誓つて此の憂ふべき現狀を打開すべく奮起せられんことを切望せざるを得ないのである。

## 三

今回福岡鑛山監督局に於いて鑛業報國運動を實施し石炭鑛業報國精神の作興を圖り事業經營の改善に努め更に進んで健全なる勞働力の培養を策しよつて以つて時艱の克服を期すべく石炭鑛業界に於ける事業主及従業員に對し銃後産業人としての覺悟を促さんとする所以のものもまた實にこゝに存するのである。

次に、最近特に世人の注視する所となつた産業獎勵の問題を取り上げやう。

一昨年秋馬場藏相の三十一億圓の豫算案は忽ちにして物價暴騰及見越輸入の激増を招來することになつた、これは即ち我國の經濟力が此の老大豫算を消化し切らぬことを如實に物語るものであつて、此のことは直に物資の相對的不足を意味し之が對策については政府に於ても種々考慮を重ねて來たのである。

斯る情勢の下に於て去年七月勃發した支那事變は一舉にして昨年度の總豫算を五十五億の巨額に達せしめ、之が爲に物資の不足は一層の深刻化することになつたのである。此の物資の不足對策として林内閣以來特に生産力の擴充といふことを重大政綱として掲げて來たのであるが、生産力の擴充の爲には資金の外に生産設備及原料等多量の物資が必要とされる



而もこれ等の物資の供給は資金の供給の様に簡単に増加することは出来ぬのであるから、勢ひその供給を輸入に仰がなければならぬことになる。斯くして輸入の増加が不可避となつて来るのである。加ふるに、事變の進展に伴ひ直接軍需品及び其の原料品の輸入の今後益増加の一路をたどるであらうことは眞に踏易い道理であつて輸入増加の趨勢は底止する所を知らぬ感がある。

#### 四

右の輸入増加の趨勢に加ふるに輸出の停滞及海運収入等の如き貿易外の収入の増加が絶望視される今日の事態に於いて我が對外爲替の低落は到底免れぬ所で、あり随つて、對英一志二片の水準を確保することは、第一に公債の信用を失墜せしめぬ爲に、第二に悪性インフレーション防止の爲に絶對的に必要である。こゝに於て政府は此の爲替水準維持の目標に向つてあらゆる努力を拂ふことゝなつたのであつて、その有力なる方策として樹立せられたのが産金奨励策である。蓋し現今の信用制度はその終局に於て金といふ基礎の上に立つてゐるのであるから海外物資の購入手段としては世界貨幣たる金以外にはあり得ないからである。

斯の金政策の強行は、昨年八月の第七十一議會に於て成立した産金法及貧礦處理助成法に於て法的形態を取つて具現することになつたのである。産金法は産金の管理及産金の増加の兩目的を併有するものであるがその後者に就ては産金の監督指導に關する規定を設けてゐるのであつて、その結果政府は金礦業者及金製業者に對し奨励金を交付すると共に之が統制を強化し産金高の増加を必要とする場合に於ては設備の擴張、改良其他必要な事項を命令することを得せしめてゐるのである。

商工省は此の産金法及貧礦處理法を支柱として金増産五ヶ年計畫を樹て五ヶ年後に於ける年産額を内地約六十萬、外地約七十五萬合計百三十五萬となさんとするものであつて、其の計畫の規模は極めて尨大であり金礦業者は獨り其の設備の擴大乃至採行の強化を圖ることを要請せらるゝに止まらず殊に大産金業者に在つては或程度迄採算を無視して百分ノ三以下の品位の貧礦を採掘し産金國策に順應することを要求せらるゝに至つたのである。

#### 五

斯くして予は、金礦業者が産金事業の國家的な事業たることを三思し犠牲的精神を以て産金高の増加に努められんことを要望せざるを得ないのである。産金事業も資本家の經營するものである以上、全然採算を度外視することを得ざるべきは固より當然である。併しながら、今や産金事業は單に事業家の利益のみを目標として行はるべきものではなく國家經濟全般の利益を目標として經營せなければならぬのである。産金事業に當らるゝ事業主及従業員各位はその事業の重要性及公共性を充分に認識し斯業を通じて國家に奉仕せられたいと思ふのである。

惟ふに鑛業は多分に公共的性質を有するものであり之が經營の適否は直に國家經濟乃至國家産業の盛衰に影響するものである。こゝに於てか鑛業に従事するものはその事業主であると従業員であるとを問はず、各自其の與へられた職責を完全に遂行することに依つて邦家の爲貢獻する所あらねばならぬのである。

昨年十二月十三日には、さしも難攻不落を誇つた南京も陥落したさりながら眞の東洋平和は日滿支三國提携を基調とした東洋諸國の眞の獨立と親和とが實現される時始めて齎さるべきものであり、之が爲には親目的基礎の上に立つ支那の出現が缺くべからざるものであることに想倒すれば眞の意味の支那問題はまさにこれから始まるものと謂はねばならぬのである。凡そ一國が大飛躍を試み一大發展を遂げんとする場合に於いては、必ずや大なり小なりの障害に逢着することを免れ得ないのであつて、此の障害を克服することは伸び行く國家の國民に課せられた義務である。鑛業戦線の光榮ある戦士として身を鑛業界に置く者は、如何なる犠牲を拂ひ如何なる困難を堪へ忍んでも非常時國家より課せられた國民的責務の遂行を期せなければならぬのである。

# 昭和十三年の炭界打診

昭和石炭株式會社社長 古田慶三

昭和十三年度の炭界見透し如何は今時事變の成行並に財界の一般情勢等を如何に觀測するやにより異つて來るが、戦局は首都南京の陥落に依り一大轉機を劃し、其の終結も意想外に早からずやとの感を深めるに至りしも支那政府の對日態度之を支援する背後の諸勢力、戦後交渉の多難性等々複雑多端なる事情を考慮する時は、今後の推移に就ては容易に豫測を許さず、平和を見るに至る迄には尙相當の時日を要すべく、其の間國民として今一段の覺悟を要する新事態が勃發するやも圖られない狀勢に在る。

從て我國防力の整備、擴充は益々必要の度を高め戦時經濟體制の常態化により、軍事費も前年度に劣らぬ膨脹を呈すべく、勢ひ重工業、化學工業、動力工業等の各種時局産業が依然活況を持續すべき事も想像に難くない。而して各種産業は何れも燃料並に原料として石炭に依存する事が甚大であるから、十三年度に於ける石炭需要も是等産業部門に於ける需要増加を主因として益々旺盛を極め、從來に劣らぬ増加率を示すには非ずやと豫想される。

加之、日支經濟提供の確立と之に基く全支經濟開發の進捗に伴ひ日滿支經濟提携ブロックの結成強化を目指し、日本經濟機構の劃期的發展が期待されるから、戦果の收束に連れ、石炭需要のスケールも著しく擴大し、從來一般に考へられてゐた程度以上の激増を來すのではあるまいか。

斯の如き需要の趨勢に對する供給方面を見るに内地移輸入炭の大宗たる滿洲炭は滿洲産業開發の原動力として國內の需

要増加を賄ふに一杯にして、内地への輸入餘力に乏しく、北支炭の開發には今後尙相當の年月を要し、其他に於ても前年度に比し些じたる移輸入増加を期待し難き狀況に在るから、結局本年度も内地炭に依つて内地需要の大部分を賄ふの外なき事情に在る。然るに我内地炭界は過去數ヶ年來に亘る需要増加を既存施設の生産餘力に依つて賄ひ、大体に於て自給自足の狀態を維持して來たのであるが、昭和十一年の頃からは漸く其の餘力が盡盡せられ其後の需要増加は設備の擴張新坑の開發に俟たなければならぬ狀況となつて來た。從つて、炭業者は技術員の養成、鑛夫の募集、新規擴張への着手、港灣の修築、荷役輸送能力の改善擴充等々増産並に配給に關する人的、物的條件の充足にありと凡ゆる努力を拂ひ供給の圓滑を期して來た次第である。其處へ偶々今回の事變が勃發した。事變の發生が急激に需要を喚起した事は申す迄もなく、就中各の生産並びに運輸等が總てスピード・アップを要求せられる爲め高級炭への需要が喚起せられつゝあり、他面供給は勞働力並に輸送力の不足等人的にも尠からぬ障礙を受け増産を阻まるゝに至つた。

從つて需給關係は茲に一段と逼迫の度を加へ需要者としては恐らく品質數量の何れに於ても常時希望するが如き各炭種の入手が困難となり、或程度の消費節約又は新炭種の使用を餘儀なからしめらるゝが如き向も生ずるやも知れぬと思はれる。

生産者としては斯の如き事態を未然に防止すべく、増産に支障ありと認めらるゝ一切の生産協定を撤廢し増産獎勵に懸命となつてゐるが、採炭設備の擴張、新坑の開發等には元來巨額の資金を必要とするのみならず、近來物價高に伴ふ鐵鋼坑木爆火藥其他材料費の全面的暴騰勞賃其他人件費の昂騰等生産費の著しき増嵩を來してゐるから、今後の新規増産活動を促進せしめ其の實効を擧げる爲めには、當業者の手取りを向上せしめ、新規増設への投資を誘致し且炭坑勞銀の引上げを可能ならしめて勞働者の募集を容易にする事が緊要事である。從て是等の條件を充たす爲めには相當なる炭價の昂騰を來す事は眞に已むを得ざる自然の勢ひであり又、政策的にも容認せられねばならぬ所であると思ふ。

以上の如く、時局に伴ふ石炭需要の激増に對處し供給の圓滑を確保すべく當業者側に於ては増産の促進に全力を盡してゐる次第であるが、出炭能力の擴充に關する人的並に物的要件を充足し、所期の出炭を見る迄には其間相當の日子を要するから、昨今の如き急激なる需要増加の續く限り目先き需給關係の逼迫緩和を期待する事は困難ならずやと思はれる。従て消費者側に於ても使用炭種の選擇、焚燒の合理化に最善の注意を拂ひ科學的利用方法を講じて熱効率の増進に努め消費節約の實を擧げられん事を切望する。

(一一二、一一一)

## 一 行 知 識

- 雨だ雪だといふのも地上約十軒迄の高さの間に起る事で、それ以上の上層では天氣の變化はなな常に晴天である。
- 我が軍艦は武裝第一主義で贅澤な容積がない。寢る設備でも寢臺は大尉以上。處が米國では士官は皆寢臺である。
- 世界一の透明な湖はシベリヤのバイカル湖と言はれてゐたが、實は北海道阿寒國立公園の摩周湖であると判明。
- 一昨年警視廳犯罪統計に依り、夜間犯罪六萬五千件、晝間八萬四千件、然も金めの犯罪が晝間多く行はれてゐる。
- 軍隊を平時の態勢から戰時の態勢に移すに當つて下される勅令が即ち動員令と呼ばれる。
- 本年四月一日現在の調査、内地人千人以上居住の支那都市は上海青島天津北京濟南山海關漢口滄口四方の九市。
- 電報をうつ時先方に電話があれば「ムナ」の符號と先方の局名番號をつけて出せば電話で知らしてくれり。料金は同じ。
- 紫外線は山と海とでは山の方が強い。日焼けも山の方が強いが登山者は裸體になつてゐないので之を免れてゐる。
- 當局の注意書に依ると惣問袋には餅類や紙袋に入れた菓子類實類は入れぬ様にして欲しいとある罐入の物は差支なし。
- 電氣のコードを釘にかける時は細紐で結びその紐をかけるよ。直接やると漏電の恐れがある。

## 本 會 記 事

### 故本會々長金丸勘吉氏の葬儀

#### 人と供物に埋り近來稀な盛葬

筑豊鑛業界の重鎮、石炭鑛業互助會會長石炭株式會社々長故金丸勘吉氏の葬儀は、十二月二十二日午後一時より遠賀郡香月町楠橋小學校前小丘廣場に於て、佛式により盛大に執行せられた。

式場には町田民政黨總裁、永井逋信大臣、小川郷太郎、櫻内幸雄、田尻鐵道政務次官、田島逋信政務次官、中島麻生、松本、安川、貝島、三井、三菱、野上、大正、日化及び本會其他各方面より贈られた花輪弔旗は千餘對に達し、更に本會其他から供米千俵は流石に廣き式場も埋め盡されるまでに飾られ、筑豊地方並に地許各團體代表者三千餘名參列、斯くて靈柩車は喪主熊太郎氏を初めセ

キ未亡人、葬儀委員長松尾三藏、副委員長武内禮藏、末永九郎、顧問野上辰之助、高野喜六、相談役小林勇平、北代市治の諸氏其他近親先輩親友に護られて式場に行進祭壇に移さるれば、末永葬儀副委員長開式の辭を述べ、導師東本願寺連枝大谷瑩詔師ほか四十餘ヶ寺數十名の僧侶によりて莊嚴なる讀經裡に東本願寺代香、副導師燒香あり喪主熊太郎氏セキ未亡人他近親者の燒香、松尾葬儀委員長以下各委員親友先輩の燒香あり、更に東本願寺初め三十數氏の弔辭朗讀、捧呈、町田總裁外千五百餘通の弔電披露、續いて喪主葬儀委員長の挨拶あり三時半盛儀を閉ぢた。尙ほ當日會葬者の主なる知名士は左の如くであつた。

島岡門鐵局長、嶋中將、中島徳松、貝島義元、伊藤金次  
森田遠賀稅務署長、太田縣會副議長、筑豊各警察署長、  
各町村長、各驛長、各炭坑々長。

次に本會を代表して野上副會長、職員一同を代表して風戸  
主事が朗讀した弔辭は左の如くである。



故會長金丸勸吉氏

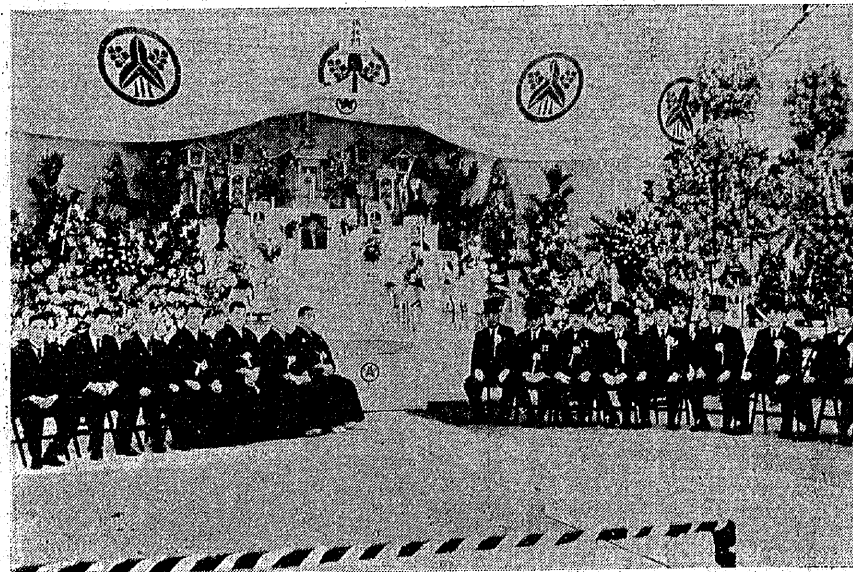
### 弔辭

木枯しの風颯々として落葉を散らし香煙縷々として哀愁をそよる  
今日茲に悼ましくも吾等の會長故金丸勸吉殿の御靈前へ副會長野  
上辰之助會員を代表して謹みて最後のお別れを申上ます  
回顧すれば昭和五年四月嘉穂郡の一角に僅かに九名の中小炭坑業  
者が一團となり石炭報國と業界の刷新を綱領に掲げて上嘉穂礦業  
會なる團體を組織したのが抑も今日の互助會の前身であります。  
時恰も歐洲大戰後の財界恐慌の影響を受けて我が經濟界は不況の  
ドシ底に陥り就中吾々中小炭坑業者は將に窒息的打撃を受け極度  
の縮少を斷行するか左なくば事業中止かを餘儀なくされ是れが爲  
めには數万の稼働者の生活を脅かすは目前誠に危急存亡の秋であ  
りました此の難局を如何して切り抜けるかに多大の苦心を拂ふて  
居たのであります。  
そこで慎重協議の上同業者の大同團結の力を以て是れを打開する  
より前途なきと云ふ結論に到達したのであります。茲に於て筑豊  
一体の中小炭坑團結の運動に乗り出し加盟勸誘に奔走しました其  
頃中には理解しない人もあり一方世間からは種々の誤解を受ける  
等其の困難は一通りではなかつた事も今は思ひ出の種であります。

貴下の熱烈鐵をも熔かす正義の念と剛毅にして不撓不風の御  
氣象は克く是れを説伏せられ波瀾曲折の中にも五十餘坑の同志  
を糾合して其の年の九月十五日直方市多賀神社の神前に芽出度結  
成式を擧げ新たに筑豊石炭礦業互助會を組織し衆望により貴下  
を會長に推戴し會員相互の扶助連絡と直面して居る中小炭坑の更  
生を計圖し併て業界舊來の弊風を刷新し以て炭業報國に邁進せむ  
事を天地神明に誓つたのであります。  
是れに我國石炭礦業界に歴史的な第一歩を印したと云ふべきで  
あります偕て漸く孤々の聲をあげたばかりの互助會は力も齒もな  
い幼児同様の團體なるにもかゝらず其の背負ふて立つ目前の使  
命は極めて重大でありました其の主なる使命として炭界空前の苦  
境を脱するには第一全國的送炭制限を斷行する事が急務である事  
を主張し貴下は敢然立つて是れが實現を期せられ直に聯合會と折  
衝を開始し上級幹部を引具して上京の途中、下ノ關驛頭には數百  
名の従業員が見送り吾等の生活權擁護の爲め努力して下さいと激  
勵の言葉を浴び貴下の義侠心は感激の涙となり「ヨシ吾々の主張  
が若く徹らなければ死んでも歸らぬぞ」と聲涙に咽びながら答へ  
られたるあの悲壯な情景が今に私共の忘れられぬ深い記憶であり  
ます。



者列参るむ埋を場儀葬



影撮念記の員委儀葬者親近主喪後了終儀葬

此の燃ゆるが如き正義の意氣は流石に難問題の送炭制限も完全に協定成り業界の一暗雲を拂い前途に一縷の光明を望むの喜びを分ちた事も今は貴下の大なる功績として永へに讃へられるのであります。

更に引續き撫順炭の内地輸入統制を確立せしめ即ち日滿經濟プロツクを醸成し筑豊二十万の稼働者を餓死線上より救ふ爲めにはどうしても當時内地炭と共に統制すべきことを高唱され是れが運動には總てを犠牲にして實現を期するの決意を示し遂に政治問題化するの大波文を惹起しながらも貴下の正しければ千万人さ雖も吾往かんの信念により凡ゆる障碍を排除し壓迫に屈せず初志を貫徹せられたる結果全國炭業界を危機より蘇生の曙光を見るに至りたるは全く貴下の義侠的精神と其の人格より出てたる業界不滅の功績にして私共の敬服措く堪わざる處であります。

其他或は婦女子の入坑禁止問題又は若松港帆船争議の解決更に石炭の生産並販賣統制の爲め互助會石炭株式会社の創立等々數へ來れば枚擧に遑なく然かも大事業を次ぎ／＼に遂行解決して下さいます。互助會創立後茲に七星霜日尙淺きに不拘今日既に鞏固なる基礎を築き上げ其の聲價は忽ちにして天下に名を成すに至りました。

私は今お別れに望み貴下が互助會の生みの親育ての親としてお盡し下さいました大なる業績を感謝に溢れつゝ其概要を申し上げたに過ぎませんが併し是れは單なる互助會たる一團體への功績ではない事を斷言して憚からぬのであります。今日石炭が國策の重要な役割をなし正に國家的の事業である以上貴下の石炭鑛業家としての大なる成功も又互助會にお盡し下された總ては國家に貢獻せられたのであります。貴下の御生涯こそ眞に石炭報國精神を其のまゝ實現せられ立志傳中特筆大書すべきは論を俟たず吾々後輩に對して身を以て範をお示し下されたのであります。

貴下は實性温厚にして篤實其の聲望は万人の長敬する處でありまして又仁俠的性格と、古武士的な冒すべからざる風格を備へられ克く先達の士に従ひ己を捨て、後輩を導いて下さいました貴下の人格と高德は今の此の盛大にして莊嚴な儀式が如實に物語つて居ります。諺に云ふ

「事業の盛衰は一に其の人を得るにあり其の人は人格にあり」  
貴下は正に此の諺の通り具現されて居ります。今や帝國は支那全面に正義の兵馬を進め連戦連勝着々所期の戦果を收めつゝありと云へ今後更に重大なる時局に直面して居ります。吾業界も亦今後貴下のお力に俟つべき仕事が多いのであります。然るに昨冬來の御

病氣が一日も早く御恢復されん事を只管お祈りして居りました際、忽然として御他界になりました。我が炭界の爲にも國家的にも洵に痛惜の情に堪へません。

噫々天なり命なり人生必らず死あり貴下の如きは功成り名を遂げられ後繼に衆望高き熊太郎氏を始め貞氏ありて後顧に何の憂いもなく御氣象通りの大往生をなされ而も事業發端の此の地に空前の盛葬を營なまる誠に死して餘榮ありき云ふべきであります。吾等亦會員協力して貴下の御意志を享け續き更に炭業報國精神を昂揚して全副の努力を致す覺悟であります。ドウゾ安らかに御瞑福をお祈してお別れの言葉と致します。

昭和十二年十二月二十二日

互助會副會長 野上辰之助

### 弔 辭

會長貴下の突然の訃報に接しまして、私は石炭鑛業互助會職員一同を代表して、茲に豫想だに思なかつたお別れの言葉を申し上げねばならぬことを悲しみます。

て、當時業界の死活問題までいはいはれ、重大視されました炭界の刷新に猛運動を起され目的を達成して圓滿な解決を圖られました。昭和十一年十一月販賣統制上より、互助會石炭株式會社設立せられるや、取締役に選任され、本年五月中島前社長辭任の後を承けて社長に就任せられました。

斯くて筑豊鑛業界の重鎮として、日本石炭鑛業發展史上に不磨の功績を止められたものであります。噫偉なる哉。

會長貴下の五十六年間の奮闘史は、立志傳中特筆大書すべき生きたる教訓であります。吾等職員一同は貴下の御教訓を遵守して現在直面せる非常時下に於ける統後の護を固め、協力一致鑛業報國に勇往邁進すべきことを御靈の御前にお誓ひ致します。吾等の慈父と仰ぐ金丸會長今やこの世に無き茲に謹みて哀悼の意を表します。嗚呼哀哉。

昭和十二年十二月二十二日

石炭鑛業互助會

互助會石炭株式會社

職員代表 風 戸 道 康

本日この盛大な御葬式に當りまして慈父の如く御慕ひ申上げて居りました貴下を襲へる吾等職員一同は、こゝに涙の袂をつられて參列して居ります。誠に長へのお別れであります。乞ひて留まり給はん御身なれば、御袖に取り纏り申しても、今一度御顔を拜み奉らんものを、御命に代ること慄ふなれば、吾もくも勇みて御代り申すべきに。山よりも高く海よりも深き御鴻恩の萬分の一だに酬ひ奉らざるに、吾等が會長は逝きて再び歸り給はず。嗚呼哀哉。

會長貴下はあらゆる世の辛酸を舐められ、長ずるに及んで鑛業報國の大志に燃へ、文字通り苦闘又苦闘、其烈々たる意力は、掘り出す礦石の如く堅く、筑豊の地下に埋れる脈々たる炭層の如く盡きるころ無く、不撓不屈豪放磊落な一面、常に細心の注意を拂つて、ひたすら斬新な思想、學識を求めて研鑽せられ、よく青年後輩の論に耳を傾けて建策を容れられるなど、如何なる難問題に處しても、強き信念と体験により生れ出づる高邁なる識見と果斷なる才機とを以て處理せられ、こゝに衆望は流れに従ふ水の如く自ら集り、昭和五年九月業界の推進力となりて、筑豊五十有餘の炭坑業を打つて一丸とした、互助會を組織せられまして推されて會長とされました。爾來業界の不況打開の根本策を確立せられ

### 重役會並に理事會

十二月二十六日午前十時より本社會議室に於て重役會並に理事會開會。野上副社長、武内專務、末吉、山本、三崎各取締役、木曾、有吉、小林、西本各理事出席、陪席、有江互助會相談役、藤井、北代互助會理事

#### 議 案

- 一、金丸會長急逝ニ付對策決議ノ件
  - 一、貨物増配對策ノ件
  - 一、上京經過報告
  - 一、北支那ノ事情報告
- 右四議について慎重協議し零時半散會す。

### 理 事 會

一月四日午前十時より本社會議室に於て開會、野上副社長、武内專務、山本、木曾、有吉、小林各理事出席、左記議案について協議正午散會す。

#### 議 案

一、北支問題ニ付野上副社長上京十河信二氏ト會見ノ經過報告

一、昭和石炭會社並ニ聯合會ト交渉中ノ件ニ關スル野上副社長ノ狀況報告

一、配車ノ件ニ關シテ武内專務門鐵ト折衝ノ經過報告

一、現在ノ情勢ニ鑑ミ炭價値上ノ件

一、靜鑛業所互助會脫退ニ關スル件

一、其他重要事項

昭和十三年一月十五日  
石炭鑛業互助會  
各炭坑所長殿

### 第二回強調週間ニ對スル副會長ノ挨拶

謹啓陳者第二回強調週間ニ對スル當會副會長ノ挨拶別紙御送附申上候從業者集合ノ機會ニ朗讀趣旨徹底方御取計ト願上候  
敬具

### 本會新入會員紹介

左記の通り高辻炭礦が入會致されましたから御紹介致します。

入會月日 昭和十三年一月一日

礦名 高辻炭礦 (電話香春五六番)

所在地 田川郡伊田町

鑛業權者 高辻角太郎

### 第二回鑛業報國運動強調週間に就て

茲に昭和十三年の新春を迎へ萬邦無比、萬世一系の我が皇室の彌榮に榮えますことは我等一億同胞の欣喜惜く能はざるところであります。

顧れば昨年七月七日蘆溝橋事件以來暴戾支那膺懲の聖戰茲に半歳今や皇軍は北支は固より中南支に陸に海に連戰連捷

着々戰果を收め、客臘十二月十三日遂に世界戰史上特筆大書すべき首都南京を攻略し今や占領各地に防共親日の新政權が生れつゝあるは洵に御同慶の至りであります。然るに蔣介石一派の國民政府は英、蘇其他第三國に依存し、ゲリラ戰術を以て飽迄長期抗戰を叫びつゝあり、而も古來馬上天下を取るは易く馬上天下を治むるは難し、換言すれば破壊は易く建設は難しと謂ふべきである、故に事變の終結は未だ豫測を許さず、國民は協力一致益々銃後の護を固くしなければならぬのであります。

特に現代戰は國力戰であり産業戰である、銃後に強力な産業がなければ終局の勝利は得られない。而も凡ゆる産業の原動力をなすものは石炭であつて従つて諸君の掘り出す一塊の石炭こそ戰爭の勝敗を決する鍵といふべきであります故に吾等石炭鑛業に従事するものは非常時日本の産業戰士として奮起すべき秋であります。

昨年十二月五日より福岡鑛山監督局主催の下に鑛業報國運動提唱され我が互助會所屬炭鑛は卒先して敢然起つて之に協力し、其の第一回強調週間を十二月十三日より十九日まで

として諸君の協力により相當効果を挙げたるは私の最も欣快とし満腔の誠意を披瀝して感謝するところであります。今回一月十六日より二十二日迄の一週間を第二回鑛業報國強調週間として層一層諸君の協力を要望し、本運動により官民勞資一丸となつて滅私奉公時局打開を圖りたいと思ふのであります。

私は諸君が現下時局に際し日本國民として重大なる産業的使命を擔つてをることを自覺せられ緊禪一番報國の赤誠を捧げ銃後人の責務を完了せられんことを切望する次第であります。

以上御挨拶申上げます。

昭和十三年一月十六日

互助會副會長

野上辰之助

參考資料

鑛夫の雇傭勞役に關する講演(八)

前福岡鑛山監督局監督官補 坂本行敬

雇傭勞役規則

只今から雇傭勞役規則について申述度と存じます、抑々雇傭勞役規則は鑛業經營上其の鑛山の憲法とも申して差支なく、殊に勞務管理上密接な事項が規定せらるゝ譯でありまして、其の規定の適否並に此の規則勵行の如何は、事業經營上重大なる關係を有しますことは、今更申す迄もないこととあります、而して此の規則に規定すべき事項は、曩に鑛夫勞役扶助規則第一條の解説を致しました際申述べましたが、本日は此の雇傭勞役規則の規定上の注意及各鑛山に於て實施の狀況を私が觀た所に基きまして率直なる意見

を述べて見度いと存じます。之れは將來圓滿なる規則の勵行に依りまして作業能率の増進は勿論同時に災害防止にも重大なる効果をもたらすものと信ずるからであります。本日は皆さん方自づかの鑛山の雇傭勞役規則を御持参のことと存じますが、各鑛山によつて多少規定の内容が異つて居りますので、便宜上一應監督局で定めて居ります雇傭勞役規則の様式を左に御示し致しまして其の様式の規定を標準として御話を進むることに致します。

様式

雇傭勞役規則(變更)許可申請

何縣採掘權登錄第

號何々鑛山

右雇傭勞役規則別冊ノ通制定(又ハ變更)致度候間御許可相成度此段申請候也

昭和 年 月 日

住所

鑛業權者(又ハ鑛業代理人) 氏名(名稱) 印

福岡鑛山監督局長

殿

雇傭勞役規則

第一章 鑛夫業務ノ種

第一條 鑛夫ノ業務ノ種類左ノ如シ

一 採鑛夫(又ハ採炭夫)ノ業務

採鑛(又ハ採炭)及採鑛(又ハ採炭)ニ必要ナル坑道ノ開鑿ニ從事スルモノ

二 支柱夫ノ業務

梓留、支柱、木積其ノ他坑道修理ニ從事スルモノ

三 手子(又ハ後山)ノ業務

採鑛(又ハ採炭)、支柱ニ從事スル先山ノ手傭

四 運搬夫ノ業務

坑内外ニ於ケル鑛石(又ハ石炭)ノ運搬及材料等ノ運搬ニ從事スルモノ

五 選鑛夫(又ハ選炭夫)ノ業務

坑外ニ於ケル鑛石(又ハ石炭)ノ選別ニ從事スルモノ

六 製鍊夫ノ業務

燒鑛、熔鑛、及鍊銅、何々等ニ從事スルモノ

七 火夫ノ業務

汽鑛ノ焚火ニ從事スルモノ

八 機械夫ノ業務

捲揚機、唧筒、電動機、汽鑛ノ給水、選炭機其ノ他諸機械ノ運轉ニ從事スルモノ

九 工作夫ノ業務

修繕、大工、鍛冶、鑄造、旋盤、保線工等ニ從事スルモノ

十 何々夫ノ業務

何々何々ニ從事スルモノ

十一 雜夫ノ業務



坑道ノ掃除、安全燈ノ掃除、杭木整理、鑛業所納屋掃除、道路ノ修繕等ニ従事スルモノ

(注意) イ、業務名ノ下ニ其ノ性質、細目等ヲ鑛山ノ實際ニ徴シ可成詳記スルコト  
ロ、本條業務名ノ下ニ例示シタル事項ハ鑛山ノ實情ニ依リ適セザルモノアルベク鑛山ニ於テ(イ)ノ趣旨ニ依リ適宜取捨スルモ妨ゲナシ

### 第二章 雇入ノ手續

第二條 鑛夫ヲラントスル者ハ氏名、生年月日、本籍、履歴ノ概要ヲ口頭又ハ書面ニテ申出デ雇傭ヲ申込ムベシ

前項ノ申込アリタルトキハ調査ノ上所定ノ身體検査ヲ行ヒ合格シタル者ヨリ雇入ルベシ

鑛夫ハ其ノ雇入ニ際シ確實ナル保證人何人以上連署ノ上別記様式ノ誓約書ヲ差出スベシ

鑛夫ハ其ノ雇入後三十日以内ニ自己ノ戶籍謄本又ハ抄本ヲ差出スベシ

第三條 鑛夫雇入後三十日以内ヲ試ノ雇傭期間ト爲スコトアルベシ

(注意) 第三條ハ鑛山ノ必要ニ應ジ規定スベキモノナルニ依リ必要ナクハ規定セザルコト

豫告スルカ又ハ豫告ヲ爲サズシテ賃金十四日分以上ノ手當ヲ支給シテ即時解雇ス

一 鑛夫身體虛弱傷痕疾病其ノ他ノ事由ニ依リ就業ニ堪ヘズト認メタルトキ

二 鑛業ヲ休止シ又ハ廢止スルトキ

三 業務ノ都合ニ依ルトキ

四 鑛夫試ノ雇傭期間中ニ在ルトキ

前項ノ豫告期間中ニハ左ノ期間ヲ算入セズ

一 業務上負傷シ又ハ疾病ニ罹リ療養ノ爲休業スル期間

二 産前又ハ産後ノ女子鑛夫勞務扶助規則第十五條

ノ規定ニ依リ休業スル期間

三 鑛業權者ノ都合ニ依リ鑛夫臨時ニ休業スル期間

但シ休業中賃金ヲ受クルトキハ此限ニ在ラズ

第二項ノ手當ノ標準タル賃金ハ鑛夫勞務扶助規則

第二十九條ノ例ニ依リ之ヲ算定ス

### 第五條

左ノ各號ノ一ニ該當スル事由アルトキハ鑛夫ハ何時ニテモ雇傭契約ヲ解除スルコトヲ得

### 第三章 解雇ノ事由及手續

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル事由アルトキハ何時ニテ

モ鑛夫ヲ解雇スルコトアルベシ

一 鑛夫罰金以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二 鑛夫法令又ハ法令ニ基ク當鑛山所定ノ規則ニ違背シ其ノ情狀重キトキ

三 鑛夫故意ニ鑛山ノ秩序ヲ亂シ若ハ作業妨害ニ依リ鑛業權者ニ著シキ損害ヲ蒙ラシメタルトキ

四 鑛夫常時怠惰粗暴ナルカ又ハ甚シキ不正ノ行爲アリタルトキ

五 鑛夫正當ノ事由ナクシテ無届缺勤引續キ十五日以上ニ及ビタルトキ

六 試ノ雇傭期間中ニ在ル鑛夫ニシテ雇入後十四日以内ナルトキ

七 天災事變ニ因リ鑛業ヲ休止シ又ハ廢止シタルトキ

左ノ各號ノ一ニ該當スル事由ニ依リ鑛夫ヲ解雇セントスルトキハ少クトモ十四日前ニ其ノ旨鑛夫ニ

一 鑛夫身體虛弱傷痕疾病其ノ他ノ事由ニ依リ就業ニ堪ヘザルトキ

二 鑛業權者又ハ其ノ係員カ鑛夫又ハ其ノ家族ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタルトキ

三 所定ノ通賃金ヲ支拂ハズ又ハ扶助料ヲ支給セザルトキ

四 所定ノ就業時間以上ニ強要就業セシメタルトキ

五 試ノ雇傭期間中ニ在ル鑛夫ニシテ雇入後十四日以内ナルトキ

六 其ノ他己ムヲ得サル事由アルトキ

鑛夫自己ノ都合ニ依リ雇傭契約ヲ解除セントスルトキハ少クトモ十四日前ニ其ノ旨當鑛山ニ豫告スベシ

第六條 鑛夫ヲ解雇シタル場合ニ於テハ其ノ請求ニ依リ雇傭ノ期間、業務ノ種類、技能、賃金及解雇ノ事由

ヲ記載シタル證明書ヲ交付ス

(注意) 試ノ雇傭期間ヲ定メザルモノニアリテハ第四條第一項第六號及第二項第四號又ハ第五條第一項第五號ヲ規定セザルコト

#### 第四章 歸郷旅費支給ニ關スル事項

##### 第七條

鑛夫左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ解雇又ハ扶助廢止ノ日ヨリ十五日以内ニ歸郷セントスルトキハ其ノ必要ナル旅費ヲ支給ス

- 一 第四條第一項第六號ニ依リ解雇セラレタルトキ
- 二 第四條第二項ニ依リ解雇セラレタルトキ
- 三 鑛夫勞役扶助規則第十八條又ハ第十九條ニ依リ扶助ヲ受クル者解雇セラレタルトキ

四 鑛夫勞役扶助規則第廿條別表第八級以上ニ該當スル者解雇セラレタルトキ

五 鑛夫勞役扶助規則第二十七條ニ依リ扶助廢止セラレタルトキ

(注意) 試ノ雇傭期間ヲ定メザル場合ニ於テ、本條第一號ノ規定ヲ爲サルコト

#### 第五章 賃金ノ支拂方法及支拂期日

##### 第八條 賃金ノ種類及計算方法左ノ如シ

- 一 日額拂、是ニ屬スル鑛夫ハ何々何々(第一條ノ鑛夫ノ業務名ヲ記載ノコト)トシ業務ノ種類、

技倆ニ依リ所定ノ一就業時間ニ對スル日給額ヲ定メ就業日數ニ應ジ計算ス

- 二 稼高拂、是ニ屬スル鑛夫ハ何々何々(第一條ノ鑛夫ノ業務名ヲ記載ノコト)トシ仕事ノ難易ニ從ヒ噸、間、尺、坪、棹、等ニ依リ賃金ノ單價ヲ定メ其ノ出來高ニ應ジ計算ス時トシテ仕事ノ總量ヲ何程ト定メ之ニ從事シタル者ノ賃金ヲ計算スルコトアルベシ

賃金ノ單價及共同作業ノ場合ニ於ケル割當方法ハ豫メ鑛夫ニ明示ス

早出又ハ居殘ヲ爲サシメタルトキハ時間割賃金ノ外其ノ何割以上ノ割増賃金ヲ支拂フ

鑛夫勞役扶助規則第二條又ハ全第十一條ニ依リ休日ニ就業セシメタルトキハ日額賃金又ハ稼高賃金ノ外何割以上ノ割増賃金ヲ支拂フ

火藥ヲ使用スル場合ニ於テハ鑛山ヨリ火藥ヲ交付シ其ノ代價ヲ稼高ヨリ控除シタルモノヲ以テ賃金トス

##### 第九條

賃金ハ其ノ月一日ヨリ十五日マデノ分ヲ其ノ月二十日、二十六日ヨリ月末マデノ分ヲ翌月五日ニ支拂フ但シ鑛夫ノ請求アル場合ハ賃金ノ八割迄ハ何時ニテモ之ヲ支拂フ但シ鑛夫ノ妻子其ノ他家族ノ外代理受取ハ已ムヲ得ザル場合ニ非ザレバ之ヲ認メザルモノトス

鑛夫ノ死亡又ハ解雇其ノ他已ムヲ得ザル事由アルトキハ賃金支拂期日ニ拘ラズ速ニ支拂フ爲スベシ鑛夫ノ無斷退去等ノ事山ニ依リ賃金ヲ支拂フコト能ハザルトキハ一年間ハ之ヲ保管シ其ノ後ハ鑛夫ノ債務ニ充當シ尙ホ殘餘アルトキハ鑛夫ノ福利施設ニ使用スルモノトス (未完)

## 日銀卸賣物價續騰

十二月 前月より一分五厘方

日本銀行調査十二十二月の東京卸賣物價指數は二四一

・二と前月に比し一分五厘方續騰し十二月五月の位置に復するに至つた

商品類別に就て觀るに金屬類、建築材料、食料品等は依然騰勢を持續し、又從來海外市況の軟調に因り低落を辿つた纖維品にありては生糸の續落を除き綿、人絹糸布等

は昂騰を示した、唯雜品類の軟調は主としてゴムの低落に因る

調査品目百十品中騰貴六十品、低落十八品、保合三十二品にして商品類別並に主要品目の騰落割合は左の通りである (△印低落)

商品前月比 前年同月比較  
類別 騰 貴 低 落

食用農産物	一〇	一三五	内地米、朝鮮米、臺灣米、大麥、稗麥、内地小麥、外國小麥、小豆	内地大豆、滿洲大豆
其他食料及嗜好品	一六	五四	小麥粉、分蜜糖、精糖、牛肉、鵝卵、魚類、罐詰、茶	豚肉、大豆油、種子油
纖維原料品	一八	△二〇	紡績絹糸、人造絹糸、米棉、印棉、線糸、毛糸	生糸、羊毛
布帛類	二〇	△〇九	羽二重(内地向)縮細(輸出向)絹裏地、綿、仙、富士絹、人絹、綾木綿、粗布、金巾、天竺、白木綿、麻布	羽二重(輸出向)縮細(内地向)縮細、毛斯縮
建築材料	三五	△五七	内地材、外國材、洋灰、板硝子、燧表、石材	瓦
金屬類	三三	五七	鋼、銅、亜鉛、錫、眞鍮、亜鉛鐵板、鋇力、釘	
燃料	〇九	二八	石炭、骸炭	木炭
肥料	一〇	二四〇	硫酸、過磷酸、石灰、窒素、魚肥	大豆粕
工業材料	一七	二〇〇	硫酸、鹽酸、苛性曹達、曹達灰、晒粉	グリセリン

其他 △三九 (塗料、珪瑯鐵器)  
總平均 一五 (二〇品) 二二 (六〇品) (一八品)

▲主要品目騰落割合(割合%)

品目	前月比較	前年同月比較
内地米	一〇	一五・三
内地小麥	一〇	一四
分蜜糖	二七	一五・〇
生糸	△四・五	△三・五
米棉	一〇	△六・〇
羊毛	△三・七	五・六
綿糸	五・五	△三・一
人造絹糸	一四・〇	△三・四
羽二重(輸出向)	△五・九	△三・四
金鋼	五・五	△五・七
外國材	二・六	六・八
石炭	二・三	五・一
銅	五・一	五・七
硫安	一・四	三・二
炭	二・七	三・三

# 石炭船運賃

## 一、汽船運賃

### 1、遠洋

季節荷動きの大宗たる世界農産物の歐洲大陸向輸送引合が減退し、就中、南米の不作で同方面よりの積出が豫期以上に香しくないため船腹需給に變調を來し、倫敦市況は九月を頂上に落調を辿つたが今月に入つても依然市況は香しくない。

一方我邦を中心とする航路を復航蒐荷難は益々甚だしくなり、往航貨物も漸減傾向を示す情勢に在り、全面的に一段と不振に陥つてゐる。

### 2、近海

近海船腹の増加と遠洋の各方面を通ずる悲觀狀勢で近海も一般に先安氣分が漲つてゐる。

### 3、石炭

週末の今市場は期近物の出廻り一服し而も室蘭、小樽、若松等主要地の船込み關係の影響と大型船の引續く歸航から運賃も週初に比し三十錢方安値を唱へられ目先舊正月明け頃迄暫時此邊の軟保合と見られ若松―京濱四圓五〇錢、若松―伊勢四圓内外、室蘭―京濱四圓五、六〇錢、小樽―京濱六圓以内を唱へられて居る。

最近の成約運賃は若松より

仕向地	今月中旬	前月同期
京濱	四・五〇	五・二、三〇
川崎	四・七〇	五・五〇
伊勢灣	四・〇〇	四・八、九〇
大阪川入	二・五〇	二・五〇
仁川	三・一五	三・二〇

一月七日迄の海運特報に據る

## 二、帆船運賃

需要期に入りたる石炭荷動は愈々活況を呈し、船腹飢饉は天候の關係により益々拍車を加へ運賃は一舉に阪神二十

四錢値上決定次の通りである。

### 一月若松港協定運賃表

若松海運互親會

(單位壹匁ニ付)

仕向地	運賃 前年同期	仕向地	運賃 前年同期
和歌山縣		和歌山	二、七〇
由良	二、五七	吉見	二、八五
大阪府		岸和田	二、六三
樽井	二、八五	大阪	二、七五
佐野	二、八五	西ノ宮	二、七五
堺	二、〇三	洲本	二、九〇
兵庫縣		江井ヶ島	二、九七
尼ヶ崎	二、九七	別府	二、八七
神戸	二、九七	曾根	二、八三
明石	二、九七		
二見	二、八七		
高砂	二、七六		

木場	二、七〇	飾磨	二、七〇
網干	二、七〇	那波	二、七〇
相生	二、六〇	赤穂	二、七〇
岡山縣			
片上	二、七〇	牛窓	二、七〇
鹿忍	二、六〇	岡山	二、七〇
岡山川入	二、六〇	宮ノ浦	二、七〇
幸西	二、六〇	小串	二、七〇
彦崎	二、六〇	宇野	二、七〇
玉	二、六〇	日比	二、七〇
田ノ口	二、六〇	味野	二、七〇
玉島	二、六〇	笠岡	二、七〇
廣島縣			
福山	二、六〇	福山川入	二、七〇
鞆	二、六〇	因ノ島	二、七〇
尾ノ道	二、六〇	糸崎	二、七〇
三原	二、六〇	竹原	二、七〇
阿賀	二、六〇	吳	二、七〇
廣島川入	二、六〇	宇品	二、七〇

### 武士の經濟

昔の武士は貯金をしなかつた。しても預けて利息を買ふような事はしなかつた。

武士の本分は、戦である。いつ如何なる場合でも一令が掛れば戦ひに赴かねばならぬ。然も、其の場合、一分間の遅速を争ふ。貯金を引出しに行つたのでは間に合はない。利息を計算して居るようでは、浮世に未練があつて、命を戰場に捨てられない。尤も、武士にも軍用金の必要はあつた。それは具足櫃の中へ入れて置く。まさかの場合は金よりも食物が大切である。武士の經濟は、第一は武器の調達第二は食物であつた。

昔、ある大名の勝手掛が商人の處へ金を借りに行つた。貸さない。それでは、君命に對して申譯がないから、腹掻き切つて相果てると脅かした。すると、商人は、左様な料簡では一屑金は貸されないと斷つた。一方は、名譽、他方は、貸借の責任に重きを置く。立場の相違が此の話を不成立にしたのであつた。

山口縣	岩國	三田尻	徳島縣	徳島	撫養	香川縣	小豆島	林田	丸龜	觀音寺	愛媛縣	川ノ江	新居濱	今治	堀江	三津濱	宇和島							
今津川入	二、一五	一、七五	小松島	二、七五	二、三〇	高松	二、五〇	坂出	二、五五	多度津	二、五〇	西條	二、四七	壬生川	二、五五	菊間	二、三三	高濱	二、二四	長濱	二、〇九	八幡濱	二、四七	一、九四

備考 一 各地行共二五〇應以上ハ上記運賃ヨリ應引ノ事  
二 各地行共二五〇應以下ハ上記運賃ヨリ應引ノ事  
三 大阪行ニシテ荷揚ゲノ際分ケスルモノハ上記運賃ヨリ應引ノ事

厚生省

國民体位の向上と銃後生活安定のために新設された厚生省は愈一月十一日店開きをした、体力、衛生、豫防、社會、勞働の五局と保険院を以て構成するが民族發展のため何れ劣らぬ重要部門で新省のお役人合せて九百名の大世帯、内閣十三省中でも最も大きなお役所である十一日午前十時半近衛首相揮毫の例の「厚生省」の看板を早速麴町區大手町の元社會局跡に掲げ保険院關係三百名がこゝに移ることになった、他の五局はバラツク廳舎の出来るまで已むを得ず「内務省」の三、四階に假住居だが初代兼任木戸厚生相、廣瀬初代次官以下大したハリキリ方である。

近衛首相は厚生省の新設に當り十日左の如くその趣旨を語つた

「凡そ國民の健康を増進し國民体力の向上をはかり以て國民の精神力及び活動力を充實すると共に各種の社會政策

で居る我國民の体格水準のことである、非常時局の掛け聲が高いのに拘らず壯丁検査の結果から見ると最近我國青年の体格は年々低下し且つ風儀が著しく悪くなつて居るので陸軍及文部省ではやつきとなつてそれが對策を考究してゐる。

併しこれは我國ばかりの問題ではない、歐洲大戰に参加して獨、佛、ソ蘇等も大戰當時の慘憺たる戰禍の影響下に生れた幼児が現在丁度軍務に服するやうになつて居り、それが、また著しく質的に劣つて居るので、其の對策に各國とも全力を盡して居ると傳へられてゐる。新設厚生省は國民体位向上を第一の目的として誕生したのである。

**健全通貨** 健全通貨とは主として通貨政策に就いて云はれて居る言葉である。

一口に云ふとインフレ政策の反對が健全通貨政策であるインフレ政策が貨幣價值の引下政策であるのに對して、これは貨幣價值の維持政策乃至引上政策である、だから先づインフレを呼び起すやうな財政の膨脹即ち赤字公債政策などは極力避けて増税政策をとらなければならぬ、又外國

的施設を擴充して國民生活の安定をはかることは我國産業經濟及國防の根本をなす重大事である。然るに我國に於ては從來この方面に於ける施設及行政は尙十分でなく國民体力は顧みて遺憾の点少なからぬものがあり、この趨勢を以てしては帝國の前途誠に憂ふべきものありと言はねばならぬ、政府はこの情勢に鑑み昨年七月新省設置の方針及その要項を決定し議會に於て關係豫算の成立を見たが、時偶々支那事變の勃發に遭ひその進展に伴ひ更に慎重なる考慮を経て今日これが開設を見た、厚生省に於ては右目的達成のため直接体力の向上を目標とする諸施設の擴充強化を圖ると共に國民生活の根底に遡り廣く國民の日常生活を改善合理化して國民の福祉増進の上に適切有効なる方策を確立せんとするものである、特に現下の情勢に顧みれば事變中及事變後に於ける銃後の社會的諸施設の擴充徹底、國民保健國民福祉の諸方面にわたり實に刻下喫緊の要務で、これらに關する諸般の事業を綜合統一し且つこれを擴充實施するため茲に厚生省の創立を見るに至つたのである……」

**國民体位** 廣義國防の見地から最近特に陸軍が強調し

爲替の維持及金準備の充實を圖つて通貨に對する信用の動搖を防止しなければならぬ、更に高金利政策をとつて徒らなる信用膨脹を防止しなければならぬ等々である。

**管理通貨** 通貨はその國に金本位制若は銀本位制が維持されて居る限りは、金又は銀によつてその價值が決定されるから問題は生じないが、一度本位制から離れたとなると貨幣の價值を定める標準が無くなつて、放置して置けば無制限に下落すると云ふ結果になる。そこで政府はあらゆる方法を以て貨幣の信用を維持して國內の物價水準を動搖せしめないように圖る、例へば中央銀行に或る程度の準備金を備へるとか、爲替平衡資金を設けて爲替の賣買を行ひ又は金の海外現送によつて、爲替を維持するとか、金利策や公債の市場賣買操作をなして通貨量の調節をするとかする。

かうした政策の一切を通貨管理と云ふのである、だから現在の金本位離脱國は何れも管理通貨國と云へるのである

# 雑 録

な統制と増産促進とを樞軸とし背後に國家權力による強統制をも待機せしめやうといふ所謂二段構への體制を整へたもので大要は次の如くである

## 石炭業法案要綱

- 一、石炭業は許可制度とすること
- 一、石炭業者を以て石炭鑛業組合を組織せしめること
- 一、石炭鑛業組合は法人とし、當業者は強制加入とすること

## 自主的統制を樞軸に

### 石炭業法要綱成る

- 一、石炭鑛業組合を組織せしめ
- 一、試掘採掘の促進をも期す

石炭の増産計畫の確立遂行を期する爲商工省當局に於ては既報の如く石炭鑛業界の統制整備を圖るべき石炭鑛業法の制定を準備案文の調査研究を重ねて來たが今回漸く其の原案がまとまるに至つたので近く省首腦部の審議を経た上法制局に廻附、來るべき第七十三議會休會明け劈頭に提案するものゝ如くである、而して同法案の内容は一に石炭の増産計畫の促進達成に置きそれが爲民間業者者に石炭鑛業組合を設立せしめて同組合を中心として民間業者の自主的

- 一、石炭鑛業組合は毎年度の石炭の採掘の制當、出荷數量販賣價格の決定其他を行ふこと
- 一、石炭鑛業組合は次年度の事業計畫をたて主務大臣の認可を受くること、之を變更せんとする時亦同じこと
- 一、主務大臣は軍事上及産業上必要ありと認むる時は前項の事業計畫の變更を命ずることを得ること
- 一、政府は軍事上又は産業上必要ある炭と認むる時は石炭業者に對し生産設備の擴張又は變更を命ずることを得ること、右命令に依つて生ずる損失は政府之を補償す

ること

- 一、政府は石炭鑛業権の實施を促進せしめる目的を以て正當の理由なくして登録の日より一ケ年以上休業したる時又は施業案に依らずして採掘をなしたる時は政府の指定する特定の買受人に對して當該鑛業権を賣却すべき旨命令することを得ること
- 一、右賣却に當り賣渡條件に關し當事業者間に解決せざる時は政府が之を裁定すること

(日本鑛業新聞)

が來る議會に提出されやうとしてゐる、勿論、仲買機構の急革は行はぬであらうが、にもかゝらず、炭業者としての同法案に對する意見や準備は何うであらうかと、會つての座談會出席の同メンバーに意見をたいて見た

(文責在記者—中吉)

## 昭和と懇談して對策

福山協榮株式會社社長

藤井貞雄氏談

炭業法の制定には仲買機構の改革をも併せて行ふと傳へられてゐるが大體出炭の方に重きを置き現在の炭鑛聯をして強力なカルテル組織による強制組合とする様な情勢が濃厚である、若し仲買機構を何等かの形において統制するせば是非事前において炭業者の意見を徴して貰ひたい、今の商工省や昭和石炭や、昭和系の親店にしても、實際のところは仲買市場に通じて居らぬやうだから、現在の機構を急革するやうなことになるなければいゝと思つてゐる、愈々具体化する様な状態であれば、炭業者としての意見を具

## 炭業法案の制定を 業者の意見に聽く

本紙は會つて「燃料評論」創刊當時「大阪の炭業者に聽く」の座談會において石炭の國家統制に對する炭業者の採るべき方法につき御高見を乞ふたことあるが、當時斯かる問題は遼遠の問題であるとして次の機會に譲つたのである、一年半経たずして國家統制の炭業法案

陳してもいゝと思ふ、それに何か特別に會合するとかいふことは徒づらに刺戟するおそれがあるので、同業會の様な有志が集つて昭和筋と懇談したい、仲買機構は一面たゞの石炭を仲繼販賣する様に簡單なものではないし、いろいろ複雑した事情があるから急革するとしても實施するに大困難が伴ふものと思ふ、従つて之らの点は餘ほど兼重に對處して買ひたい云々

(この項文責牧)

## 先づ出炭統制から

山川商事合資會社

山川治郎氏談

凡そ統制には良い所もあるがまた缺點もある、此の良い所と缺點を相殺してみても尙ほ良い所が残ればその統制は意義がある、政府の立案にかゝる今回の炭業法案に就いてみるに、果たして善所と缺點を相殺して何れがより多く残るか、未だ詳細を知る事が出来ぬ現在、明確には意見を述べられないが、傳へられてゐる程度に依つて強いて希望を述べ

てみると、勿論我々の最關心事は配給の統制に關してであるが、此の配給の統制が實際に如何なる形で、如何なる程度まで行はれるのか、同一地方の石炭仲買商を整理して、

各地方に新たな配給機關を設け、更に共同購入、共同販賣等まで行ふとあるが、實際問題としてこれ等の事が業界を益することになるか否か、無論その方法にも依るが、いさゝか疑問なしとしない、むしろ我々としては配給が圓滑にさへ行はれれば販賣方面までの統制はむしろ不必要ではないかと思ふ、すなはち統制に依つて業界が飛躍するよりは反對に委縮する恐れがないかと思ふ、従つて統制も結構であるが、現在既に或る程度の統制が行なはれてゐるのであるから、更に此れを強化するとせば、第一に生産方面のより強固な統制こそ望ましいと思ふ、さすれば現在の如き石炭不足も或る程度迄は解消するのではないかと考へる

## 實際の市場を調べて

合資會社村瀨商店

村瀨環氏談

## 愈々本格化の

## 鑛業報國運動

先づ何をすべきか

福岡鑛山監督局鑛政課長

榎本勝造

政府が今回の炭業法案に就いては、その詳細なる内容が今暫らく不明なため單に強力統制と云ふも眞に何の程度までの統制を行はうとするのか業者としては此の點を知りたがつてゐる次第である、尤もその概略は知察し得られるから、その程度で思ふ所を述べてみると先づ我々の最大の希望としては、それが決して無理な統制であつてはならないと云ふことである、即ち、我々業者として充分首肯し得られる統制であり、我々が満足してその統制に服せるやうなものであつてほしいと云ふことである、それには政府は、單に机上のみに於て制度を創ることなく、よろしく實際の市場へ飛込んでみて、生きた調査研究に依つて新制度を創ることが絶對に必要である、從來お役人仕事と云ふものは兎角實情に添はぬものであるが、此の點左様なことのない様特に希望して置きたい所である、尙ほ傳へられてゐる個々の項目に就いても、少なからず希望なり意見なりがあるがそれはその詳細が更に分明してからの事として、此の場合は大體單に、決して無理な統制であつてはならないと云ふことのみを特に強調して置きたい(日本合同燃料新聞)

福岡鑛山監督局主催を以て昨年十二月五日から管内全石炭山に對し實施中の鑛業報國運動は本年に入りいよいよ本格化し相當長期に亘つて繼續するものであるが、本運動實施の動機は今次事變に依つて管内各炭鑛より應召者を送り出し夫等應召者は日頃鍛へた鐵腕を揮つて暴戻支那膺懲の爲め北支、南支の各戰場を馳驅して居るのであるが其の勇戦振に對しても憂如として居ることは我々の國民的良心が許さぬ、夫等戰場で働く同僚に劣らぬ愛國的至情を以て何とかして出炭の増加を圖るは我々産業人の義務であるので茲に鑛業報國の一大運動を起し當業者並に従業員各位の愛國的熱情に訴へ現下の産業的難局の打開を圖ることとなつ

たのである、従つて本運動は勿論現下激増せる石炭需要に  
對應する爲の出炭増加を目的とするものではあるが決して  
出炭増加の爲には手腕を選ばず遮二無二之を施行せんとす  
るものではない

斯る遺方は生産力を破壊し却つて出炭減を來す惧がある  
からして此の際決して採るべき策ではない、我々の行はんと  
する處は寧ろ事業主及従業員各位が夫々産業的立場を十  
分に認識し減私奉公の精神を以て現下に於ける我が産業戰  
線を再検討、再吟味し之が整備強化を行ひ之れに依つて所  
期の効果を具現せんとするにあるのである、今次の鑛業報  
國運動は勿論産業大衆の犠牲に於てのみ之を行はんとする  
ものではない事は大體推察して得らるゝと思ふが石炭鑛業  
は本質的に勞働力に依存する事特に大なるものがあるから  
して勢ひ産業大衆の負擔が幾分加重されることは已むを得  
ない處である

従業員各位は自己の雇傭せらるゝ、事業主が社會から課せ  
られて居る出炭増加の責務を完全に履行せしむる爲め或程  
度の犠牲を甘受することは己が職分を通じての國家的奉仕

割は左の如くである

△九日 忠隈、平山、綱分、赤坂、芳雄、吉隈、豆田、三  
井、山野、明治、三池 △十日 飯塚、鯨田、二瀬、豊  
國、赤池、三井田川 △十一日 筑紫、下山田、上山田  
△十二日 嘉穂、大峰、峰地、方城 △十三日 大浦、  
古河目尾、鞍手、新入 △十四日 中鶴一坑、同二坑  
△十五日 大辻

### 筑豊炭田にわく

#### 盛んな鑛業報國運動

女坑夫の再現で意氣揚る  
増産計画も漸やく具現か

非常時局に應ふる筑豊炭田に湧き起つた鑛業報國運動は  
九日の強調週間を契機として全炭田一齊に大々的に實施  
された、殊に筑豊炭田の中心地帯たる鞍手炭田には既に  
早くも舊臘二十二日に開かれた古河西部鑛業所の従業員  
大會をトップに

であり事業主は之等産業職士の犠牲的な奉仕に酬ゆるに經  
濟的生活の安定を以てすべきである

### 鑛業報國運動

#### 強調週間實施

九日より一齊に舉行

昨年十二月五日を期して開始せられた西日本炭山を擧げ  
ての鑛業報國運動は舊臘長崎の一部並に早良炭鑛等に於て  
強調週間が實施され出炭に就業率の向上に炭鑛經營の合理  
化に劃期的成果を擧げ就業率の如きは平均七十多から八十  
五多程度に上昇した、之に力を得た福岡鑛山監督局では新  
春愈々陣營を整備擴充して筑豊を中心に福岡縣下に九日か  
ら十五日迄強調週間を實施することになる、監督局側から  
は榎本鑛政課長を始め、椎野、武田の兩書記官、長田、大  
原、立山の三屬、徳川技師等勢揃ひをなし各現地に出張す  
る筈である。尙本社に於て従軍記者映畫班を送つて鑛業報  
國運動の一翼を擔ふこととなつた、各炭鑛の強調週間の日

### 三菱 筑 豊

鑛業所の中山第六、第七坑では強調週間の第一日九日午前  
十時から兩坑の従業員約二千名が協和會館に集合し

### 貝 島 炭 鑛

大之浦事務所では大之浦全坑の従業員約八千五百名が勢揃  
ひして何れも四ヶ所で昨十日午前九時から従業員大會を開  
催し、遠賀郡中間町の

### 大 正 鑛 業

中鶴第一坑でも九日午前十時から全従業員が記念會館に集  
合して、何れも盛んな従業員大會で鑛業報國邁進の宣言決  
議を行ひ大々的運動に氣勢をあげた、これに續いて大小各  
炭山でも一齊に従業員大會を開いて支那の第一線に活躍す  
る將兵の苦難に應へるべく銃後の産業戦線に活潑なる一大  
雄飛を誓ふことになつてゐる、更にこの

### 鑛 業 報 國

の趣旨を徹底せしめるため三菱中山坑では七日夜七時から



貝島坑では九日午後何れも主婦大會をも開き、古河坑では主婦を加へた産業挺身隊を結成し、中間の大正鑛業第一坑では九日夜七時から映畫會を開き、何れも婦女子をこの運動に参加せしめることになつてゐる、これは

### 婦女坑夫

が許された結果で、近く再現する女坑夫にもこの趣旨を徹底せしめ、全炭山を擧げて眞に協力一致の實を示し一大運動を展開せんとするものである  
もとくこの運動は應じ切れぬ石炭需要に副ふべく増産出炭を目的とするもので、これが目的を達成するために、強調週間の増産に依る利益は一切これを會社の利得とせず、全従業員に特別賞與として投げ出し、従業員の仕事参加を奨励することとなつて居り、目下各炭山とも全従業員への利益分配方法を考究中であるが、これに依つて鑛業報國運動もその目的を達するであろうといはれその意氣は正に揚がつて、將來の増産計劃具現へと第一歩を踏出したわけである

### 大正鑛業の 鑛業報國運動

従業員大會を開く

遠賀郡中間町の大正鑛業株式會社の鑛業報國運動は中鶴第一坑では九日午前十時から全従業員約千五百名が記念館に集合して大會を開き、鑛業報國に向つて邁進すべく宣言決議をなし正午終了、午後は映畫會を開催して氣勢を揚、中鶴二坑では午後一時から二坑會館に全従業員の大會を開き約一千名参加して一坑同様の宣言決議を行つてこれも氣勢をあげ、夜は六時から映寫會を催したが何れも大盛會を極めた

### 鑛業權實施を促進

### 政府積極的に斡旋

休會明け議會に提出

軍需鑛産物の生産力擴充については鐵、石炭、金を初め銅

しめる爲新に重要鑛物増産法を制定しようといふのである

### 新法案の主要點

同法の狙ひとするところは大概

- 一、試掘權又は探掘權を有する者に對し政府はその事業計畫の報告届出を行はしめること
- 一、右の事業計畫が當該鑛山の實情其他に照して適當と認むる時は政府は之が實施促進に關し金融上、技術上又は輸送運搬上の便宜を與へること
- 一、之が爲政府は官民を以て組織する重要鑛物増産に件する委員會を開くこと
- 一、事業計畫の適當ならざるものに對してはその變更を命じ得ること
- 一、鑛業權の實施を行はざる者に對しては鑛業法第四十條の規定を活用して、右權利取消を行ふこと

ニッケル、亜鉛、鉛、コバルト、マンガン、アルミニウム其他の金屬に對して最も迅速且つ適確な成果を收めねばならぬので商工省ではかねて之等各鑛物に對する個別的な方策として法律の制定、特殊會社の設立、補助金の交付其他を實施すると同時に一般的な方策として現行鑛業法の缺陷を全面的に是正して試掘並に探掘の實施促進を圖るべく研究中であつたが、愈よその具體的方法として重要鑛物の増産に關する法律(假稱)を制定すること、決定、休會明け議會に同法案を提出することとなつた、即ち現下の重大時局に於て各種重要鑛物の増産は一刻も忽せに成し得ない状態にあるにも拘らず民間業者にして徒らに鑛業權實施をせず、有用鑛物を死蔵せしめてゐるものが頗る多く現在試掘登錄濟のものにして容易に試掘を行はざるもの一萬一千餘件試掘出願中のもの三萬餘件に達する有様である、而も斯る状態に對して現鑛業法は何等その權利實施を促進せしめる方途がなく、同法四十條の鑛業權取消命令の如きも全くの死文と化してゐる程である、依つて今回鑛業法の斯る根本的缺陷を是正して重要鑛物の正なる増産を促進せ

一、鑛業權所有者か當該鑛業權を他の者に賣却する場合は政府はその賣却價格を裁定し又は其他の斡旋を行ふこと

と  
一、鑛業権の分有を認め第一の鑛業権者が資金其他の關係上容易に之を實施し得ないやうな場合に他の共同鑛業権者を以て之を實施促進せしめる方法を講ずること  
等であるに政府が鑛業権者の中積極的に入り込んで試掘採掘の促進を奨励斡旋しようといふのである。

## 急迫する需増で

### 一大難關に直面

依然供給不安は拂拭できず

軍需工業をはじめ重化學工業の時局に伴ふ石炭の急増は豫想より尨大なる數量に上り、これが供給を懸念せられてゐたところ、世界的に捲き起された船腹拂底によつて輸送の大困難に逢着し、全國市場至るところで需給の不均衡にやゝ不安の氣分を包んだまゝ、上半期を見送つたのであるが七月に這入つて蘆溝橋に勃發せる北支事變が全支に波及して

支那事變となるに及んで、炭練りの不圓滑はますます加はり、十一月中旬より季節的需要期に這入るや遂に市場は品逼迫を呈するにいたつた、これがため、ガス及びコークス用原料炭をはじめ、工場ボイラー用上質粉炭は殆ど飢饉の狀態を呈し、炭業者はこの炭況を指して二十年來の現象だといはれるほどに深刻化し、炭業者のうちから石炭の消費節約を叫びしむるにいたつた、一方市場に於ける炭價の昂騰は輸出貿易を主とする中小工場の燃料費増高を招來し、剩さへ景氣の跛行性に陥りつゝある折柄として、弱体工場の淘汰を促すがとき危局に直面し、これら中小工場を相手とする仲買筋も徐々に取引先の取捨選擇をねらつて警戒し始めて來た、當大阪市内に於ける浴場の如きは燃料難で各處に朝風呂廢止の非常手段を講じ、關係警察當局も默認するの止むなきにいたつた、如上のごとき昂騰により市場は裾物級に集中し工場用炭においては熱効率の點から六千カロリー以下のものは使用して見て比較的割高につき七千カロリー内外のものは却つて割安といふ奇現象を呈するにいたつた、昭和石炭並に石炭鑛業聯合會でも市場の推移に深

甚なる注視を拂つて、三月に送炭制限の規則を緩和し、下期送炭百一十萬トンの追送を敢行したが、増産對策は更に緊急を要したので十一月出炭を拘束するあらゆる制限規定を撤廢し積極的送炭を行つて目先需給の緩和に極力努力するとともに、一方關係當局に具陳してこれ等需増の急迫に對處するため増産五ヶ年計畫の遂行に必須な炭業法案制定の機運を見るにいたつたが、時局關係による勞働力の不足は相當影響して炭礦稼働者の拂底を來したため、各礦とも昭和七、八年以來増加の一方を辿る需要に既設の能力を殆どフルに動かしてゐた折柄として出炭能力の低減を來し遂に下期送炭百一十萬トンのうち九州引受割當額七十五萬トンは北海道各礦に譲るの止むなきに至つた、加ふるに先需の時局關係産業と特殊筋方面における需増により輸入にかゝる良質炭は殆ど優先されつゝあるために、仲買筋に引渡さるべき割當額は減少し、全國市場において需給の不均衡を露呈するに至つたが、就中、當大阪市場に先がけて品拂底に拍車かけられた特殊の事情としては

一、炭礦稼働者の不足により九州各礦の出炭能力が下半期

において××、×××程度に低下したること  
一、特殊筋の船舶用炭が事變以來若松港において一時的に優先使用されたること  
一、撫順炭が先需筋における優先額の増量と特殊筋における優先的消費によつて著しく仲買市場出廻り數量が減少し、加ふるに特殊筋使用炭の輸送激増による滿洲内貨車繰りの不圓滑によつて意のごとくならず遂に輸送不可能に陥りたること  
一、海運賃の昂騰により北海道、樺太産物が運賃高のため九州炭との制肘を受けて積極的移入をはかることのできなかつたこと  
一、長崎、佐賀諸炭田の積出が季節風によつて帆船輸送の能力を減殺しつゝあること  
一、更に如上の市場緊迫の情勢が敏感に働き需要家筋が手持用炭の手當てに奔走したため、買煽りに轉じ市場も亦たこれに追隨したること  
等の原因を挙げ得るが、船腹の緩和と出炭能力の向上に障礙となつてゐる諸事情が除去されぬ限り目先需給關係は

逼迫のまゝ推移するものと豫想されてをり、南京陥落によつて一段落つくものと豫想された時局關係も更に重大化する可能性が多分にあるので、炭界は最大難關に直面したものと見られてゐる。

### 遂に輸出を制限

商工省では輸出入品臨時措置法による貿易管理の運用に伴ひ、輸入物資の消費統制をはかり物資の國外流出を避けるため甲號の輸入制限に三品目、丙號の輸出制限に六品目を追加するとともに、同時に乙號の輸入禁止および丙號の既定の品目に若干の緩和的な條例を認めたと、石炭も國産ではあるが重工業の基礎資源として國內自給確保のために輸出制限の六項目中に指定、省令の臨時輸出入許可規則の改正を舊臘廿四日公布施行した。(日本合同燃料新聞)

### 北支資源の開発

## 統制機構の改善策

### 合理化が最も緊急要件

かゝる姑息な方策は國家産業開發上から見ても絶対に排撃すべきものである、無論將來においては内地の全國的カルテルは滿洲の全國的トラストと緊密な協調を結ぶことは必要であるが、これについては根本的に滿洲炭の増産を助成してその輸出を促進するためのものであらねばならないであらう、如上の通り我國業者が大なる襟度を以て臨むならば、少くとも日滿炭坑業を共同的に經營せしむる道程を開拓する所謂であり對策である、依つて撫順炭或は阜新炭の内地利用を可及的に低廉にならしめ、其の一方において内地炭業資本の滿洲進出を援助しなければならぬのである、しかしして滿洲及北支炭の大量的輸入については

### 輸送機構で

ある船舶の確實な把握を重大要件とする、若しその運輸に不安がありとすれば、内地の石炭液化企劃の一部は本據滿洲或は北支に移轉し、輸入炭の一部は製品として輸入せねばならないであらう、こゝにおいてこれ等滿洲及北支炭の内地輸入に伴ふてその後の統制と云ふ點について十分考察

北支石炭資源については別項記載の通りであるが、無盡藏と稱せられる世界的寶庫北支石炭の開発に就いては今後あらゆる方面から考究され採炭着手の嚆は内地鑛山界に一大變動と脅威とを惹起せられるであらうと豫想されるが一方最近の調査に依つてその埋藏量八十億噸に達すると稱せらる(現在或方面からの調査では百五十億噸と稱するエキスパートも出て來てゐる)滿洲石炭資源との一大ブロックの出現を豫想するとき、我内地界人はそのブロックの統制方策の堅確な樹立を待望すべきである

即ちこれら滿支の炭田は全體に埋藏量が頗る大であるがために大規模な經營を認可し、又處女炭田が大多數であるために設備の完整によつては採炭コストも比較的低廉となり殊に勞働コストが非常に易いために内地の小炭坑に比して原價が著しく低廉になることは誰しもが肯定出来る、これは從來の

### 内地炭坑が

滿洲炭(撫順炭)の内地進出に惱まされて遂に内地のカルテルは撫順炭に對して内地販賣量の制限協定を強要して來た事實から見ても明かなことであらう、しかし今後は勿論

すべき幾多の重要件が発生するのであるが、この件についてはすでに、我國業界の權威者或は當事者間においても既に充分考究されてゐることゝは思ふが、こゝに秃筆を走らせて敢て蛇足を加へることにする

### 輸入炭の統制

現在内地の統制組織は生産カルテルたる石炭聯合會と販賣カルテルたる昭和石炭とにより自治的に制當制による配炭を續け比較的強固な自治統制を實施して自治統制としては可なり進歩したものはあるが、最近に至つて業界の安定と共にやうやく自主的獨占統制の弊もあらはれ

### 且つ今後の

膨脹躍進時代の責任負擔者としては相當不満足な點少からずと痛感されて來た模様も見受けられ、必然的に内地統制の改善が要望されるに至るであらう、元來炭聯による統制方式は、パニツク時における業界安定策としては價値誠に大であるがこのまゝの形式では積極的な擴充時においては

その推進力に、甚だ物足りなさを感じられてゐる。就中

(イ) この實權が消極的な大財閥の手に握られてゐる關係上徒らに反動の襲來に心を奪はれ積極的開發の意氣に缺けてゐること

(ロ) 統制方法にしても財閥の利益を中心として、コストの高い老朽炭礦を不當に保護し、新興炭田の開發を妨げる傾向が濃厚に見受けられること

(ハ) 企業の商品集中は立入つた關係が不可能であるため、効果的な開發がおくられざる點がある  
等々一部識者間に相當の論難點が見出されてゐる。

### 滿洲、支那ともに

## 鐵と石炭は無盡藏

内地は高度工業の本據に、滿支は原料資源の供給と製品の販賣地へ

今年の  
問題は 北支への自由投資

無敵皇軍の劍影ひらめき巨砲喰ふところ、北は黄河より山東を含む北支五省、南は揚子江の咽喉をこめつける上海から南京更には漢口までも席巻の皇軍威力によつて、はじめて安定、北支新政權亦既に確立、この一九三八年初頭に當つて日本重工業界はその資源を従來の通り日滿プロックだけに求めることで満足することはできなくなつてゐる、今は日滿の他に支那を加へた日滿支のプロックが中心である、だから日滿プロックをもつて案出した鐵鋼五ヶ年計畫をはじめ重工業の各種計畫は根本的にくつがへされて、茲に日・滿・支を包含した新經濟計畫が樹てられ始めて居り、鐵鋼五ヶ年計畫もまた一大改訂を餘儀なくされてゐる譯である。

日・滿・支を含む重工業資源を如何に取捨按配するかは政府の根本方針樹立と共に決定される問題であるが、少くも日本の本土はこれを高度に發達した機械化學工業の本據とし、滿洲は日本への



半は原料資源地、半は日本の製品販賣地とし支那は主として原料資源地として取扱はれることは疑ひないであらう

### 交通線三つ

この場合日本を中心として大陸に向けた三つの基本的な交通線が考へられる、即ち

- 一、裏日本を主として敦賀を基點とし、清津、羅津港を経てそのセントラランドたる北滿の重工業資源地に到達するもの
- 二、裏日本特に京阪神を基點として天津又は胡盧嶋港を通じて北支背後地の重工業資源を結びつけるもの
- 三、同じく表日本から青島、上海等中支諸港を経てその背後資源に至るもの

この三つの基本線を通じて日本は如何なる重工業資源を開發し、輸送し加工し再び輸出し得るであらうか

### 滿洲の資源

先づ滿洲の重工業資源には如何なるものがあるかを見ることにしよう

### 滿洲の鐵鋼

滿洲の鐵礦埋藏量は頗る豊富で總推定埋藏量は約十二億噸とされゐる、その内譯は左の通りである

- △鞍山 赤磁鐵礦、富鐵(五〇—六〇%) 百三十萬噸(貧鐵(三五%) 四億五千六百四十萬噸)
- △廟兒溝 赤、磁鐵礦富鐵(六〇—六八%) 三百萬噸、貧鐵(三三%) 二億二千七百萬噸
- △弓張頭 赤、磁鐵鋼、富鐵(六〇—六八%) 三百萬噸(貧鐵) 四〇%) 三億七千七百萬噸
- △歪頭山 磁鐵鋼、貧鐵(三〇%以上) 一億五千萬噸
- △大栗子溝 赤磁鐵(平均五〇%) 百三十五萬噸
- △七道溝 赤鐵礦(平均五五%) 百二十五萬噸
- △千西溝 磁鐵礦(四〇—五八%) 十萬噸
- △礦洞子 約百萬噸
- 合計十二億二千四百四十八萬噸

この表でも判る通り滿洲の鐵礦は大部分貧鐵であつたが、昭和製鋼所の還元焙燒法による處理法が成功して以來、鞍山廟兒溝、引張嶺の三鐵山だけで包藏する鐵礦十億六千萬噸を處理し、約三億七千萬噸の鉄鐵が得られる、これを處理するものには昭和製鋼の第一次から第四次計畫、即ち十六年完成鉄鐵百萬噸の大計

畫があり、本溪湖煤鐵公司の五十萬トン五ヶ年計畫があり、更にこれに追加して東遼道から多獅島附近に五十萬トン乃至百萬トン位の大製鐵を建設せんとする計畫があり、熱河製鐵所、石景山製鐵所の建設計畫も具體化するであらう滿洲國政府では更に通化に年産百萬トン乃至二百萬トンの大製鐵所を建設すべく計畫中である

### 滿洲の石炭

これら製鐵事業に必要な滿洲の石炭資源はさうであらうか、プロツク見地から見れば極めて好都合なことに滿洲には良質な冶金用石炭が極めて豊富である、即ち全滿に亘り總數五十餘炭礦埋藏量は從來四十八億トンと云はれてゐたが探礦調査の結果、百四十八億トンと推定され、炭質も良く冶金用強粘性石炭が豊富であり、本溪湖の如きは製鐵用コークス原料として最適で埋藏量は二億數千萬トン撫順炭埋藏量約十億トンの一部もコークス用に使用し得る、これが經營は滿鐵の撫順煙臺炭礦が本溪湖煤鐵と合して約九百萬トンを掘り出し、その他は滿洲國統制會社たる滿洲炭礦會社があり、これは左の諸炭礦を經營してゐる

- △暉春一億トン △阜新三億トン △赤峰一億トン △鶴岡四億萬トン
- △西安一億五千萬トン △北票二億五千萬トン

### 龍烟鐵礦であらう

龍烟鐵礦は「龍宣型」と云はれる良質な鐵鋼山で埋藏量約九千萬乃至一億トンと稱されてゐる品位五・五・一・一五七・八の優良鐵礦でかつて三井物産が同礦石販賣權獲得に奔走したことがあり、支那政府も歐洲大戰後米國資本を入れて資本金五百萬元の龍烟鐵礦公司を設立し北京附近石景山口二百五十萬トン鑛爐を建設したが資金難で中止したまゝ、現在に至つてゐる、この龍烟鐵礦を日鐵參加のみに資本四千萬圓を投じて開發し石景山に於て差當り鉄鐵八萬トン第一期工作として天津に鉄鐵六十萬トン程度の製鐵所を建設し、開鑛、井陘のコークス炭と結合して現地製鐵した上、これを八幡に供給せんとする計畫が進められて居り、本年度はこれが實現を見るであらう

次に有望なのは山東省の金嶺鎮鐵礦であらう、これは山東省の益都臨淄、長山、濰桓の四縣縣境にあり埋藏量一千三百七十萬トンで六〇%の富鐵である

これは元獨支合辦事業なりしころ日本の青島占領の結果日本の所有となり、一九二一年ワシントン會議の結果支那に還付した後日支協定で日支合辦の魯大公司に依つて探掘されてゐたが一九二四年以來停業してゐる

△札賓諸爾三億トン △火石鎮五千萬トン △密山三億トン  
これらのうち阜新炭礦は既に開發されつゝあり、數年後には年四百五十萬トン探掘をめざしてゐる、その搬出地として葫蘆島築港計畫が十三年度より五ヶ年計畫として二千萬圓を投じて着手され、完成の曉には年三百五十萬トンを搬出する計畫である

これに依つて見れば滿洲に於ては現地に於ては鑛石と石炭とを使用して鉄鐵なり鋼材として内地重工業に供給するが最も理想的とされてゐる

### 支那の資源

次に支那、特に北支の重工業資源はさうなつてゐるであらう

#### 北支の鐵鋼

北支の各種重工業資源は、河北の鐵、金、銀、亜鉛、マンガン、チヤハルの鐵、鉛、亜鉛、綏遠の鐵、鉛、亜鉛、山西の銅、山東の鐵、金、銀、鉛、亜鉛、アルミニウム等豊富なものであるがそのうち鐵は最も豊富で、支那本部の總埋藏量三億二千三百萬トンとされ、北支には約一億七千四百六十萬トンで全支の約六〇%を占めてゐる、しかもその品位は四〇―六〇%の富鐵であるが、頗る有望視されてゐるなかで最も埋藏量の多いのは察哈爾省定化

その他北支の鐵礦資源は次の如くである

- △宣化縣煙筒山一千二百九十萬トン △永平鐵礦公司三千三百四十二萬トン △鷄鳴山鐵礦七十二萬トン △井陘鐵礦五百萬トン
- △易縣鐵礦百五十萬トン △平孟鐵礦 △普城縣鐵礦
- △保晉鐵礦 △長治縣鐵礦 △高平縣鐵礦 △陽曲西山鐵礦
- △臨縣鐵礦 △固陽鐵礦 △白雲山
- 鐵鋼合計一億七千八百萬

#### 南支の鐵鋼

尙南支方面の鐵鋼には有名なものとして次の如きものがある、即ち

- △大冶鐵礦―鑛區面積約二百方里(支那里)埋藏量一億七千三百萬トン良質で約六〇%の富鐵露天掘每年七萬トン八幡へ送る外一九一三年以來四十年間に一千五百萬トンを日本へ送る事なつてゐるが、日支事變の發生以來これが中止されてゐる

△湖北象鼻山鐵礦 埋藏量八千三百三十八トン、六〇%の富鐵で國民政府で探掘、年産四萬五千トン一部は日本へも送られてゐた

△安徽繁昌鐵礦 埋藏量四百六十四萬トン中日公司が探掘し

てゐたが目下中止中

△安徽當塗鐵礦 埋藏量六百十七萬トン三〇六三%寶興、昌華福利民の各会社が採掘し一部は日本へ送つてゐたが現在中止中

△安徽銅官山鐵礦 銅陵縣東南にあり埋藏量五百萬トン五五%の富嶺

△江蘇鳳山鐵礦 江寧縣南方南京より五十里、埋藏量二百萬トン  
等である

### 支那の石炭

支那に於ける石炭埋藏量は二千五百億噸と稱せられ其の大部分は北支に集中せられ、山西省の如きは其の半數を占めて居る、數字は調査毎に變つてゐるが、北支五省の石炭の埋藏量は約一千三百二十億噸と推定されてゐる、之れは現在世界に於ける一ヶ年の出炭高は約十二億噸として此のまゝで行けば百年以上の供給力があるといひ得る

各省別内譯に依れば山西省が千二百七十三億噸で河北省が二十億噸、山東省十六億噸、察哈爾省四億八千萬噸、綏遠省三億

六千萬噸と見られてゐるが

出炭量は僅少で一ヶ年千三百萬噸に過ぎず、埋藏量に於いて第一位である山西省が僅か二百萬噸強で河北省はや、出炭良好で七百萬噸弱、山東省は三百萬噸、察哈爾省三十萬噸強、綏遠省八萬噸強と云ふ有様で北支石炭は全く未開發の状態にあり特に山西省の如き處女炭を如何にして開發するかは重大問題である  
誰しも考へるべきであるが先づ第一に輸送關係を整へなければならぬ、然る後に於て或るものは内地に送られ或るものは地元で新設を豫期せられてゐる重工業に用ひられるべきであり、又之等の總てが將來のことに屬してゐるのである

將來同地に勃興を見るもの、第一に重工業が擧げられる、然らばコークス用として粘結性を有する有煙炭は益々重要な地位を占めること、ならう、北支に於いてコークス資源を求めんとすれば山西が量に於いて第一位だらうが、奥地であるため輸送に大なる費用を要するから地元消費に重點を置き河北炭を内地向けに望まれてゐる

### 筆頭・山西炭

山西省は面積十六萬軒に過ぎず人口僅か千二百萬人の小地域であり、而も東と南は太行山脈に包まれ西には黄河が横はりの等

地理的條件が政治的孤立を強ひ従つて文化の普及は遅れ經濟は發達し得なかつたのである、然れども閻錫山をして山西モンロ

主義を唱へしめたのは之等の理由に依るのみならず鐵、石炭資源豊富の然らしむる處大であつたのである、コークス用原料炭としては黄河東岸地區一帯の全炭田が有煙炭であることを見ても大略想像し得るのである、千二百七十億噸の埋藏量中半數は有煙炭であり、其の代表的なものは汾陽炭區と河興陽炭區であつて共にコークス原料として適するものとされて居り、其の埋藏量は前者は三百十億噸と推定されて居り、最近では美和公司晋興煤礦公司により一年に僅か二十萬噸の出炭を見るに到つたのみで後者は百八十二億噸の埋藏量を推定されてゐるが之が利用は全く將來の開發に待つべきものである

### 有望な河北省

開灤炭 開灤炭、井陘炭で有望視されてゐる河北省は約二十億噸の埋藏量を有し、出炭は六百九十五萬噸に上り北支炭鐵開發の開祖をなしてゐるが、コークス用原料としては開灤鐵總務局(英支合辦)經營する炭田に三億二千五百萬噸の埋藏量を有し(又一説には七億噸ともある)年々五百萬噸の出炭を見てゐる、近年我國へも多く輸入される様にはなつたが港灣まで近

いたため有利に各地へ送り出される特點を有してゐる

井陘炭 次に問題の井陘礦務局經營炭田であるが六、七十萬噸しか出炭は見居らないが九十萬噸は出得る設備があることされてゐる、然し同炭は二億二千萬噸の埋藏量を有して居ること、今後に於ける龍烟鐵礦資源開發と關聯して正豐炭と共に重要視されてゐる

正豐炭 は正豐煤礦公司と云ふ井陘炭田と同一炭田より採掘されてゐて其の量は二十二億噸で埋藏量は二億四千萬噸と稱せられてゐる

臨城炭 河北省營の臨城炭礦は五億五千萬噸の埋藏量を有して居り之れが皆粘結性に富むものであるが、出炭は五萬九千噸で此の外に中和、怡立、磁縣等合して卅億七千萬噸の粘結性炭が埋藏されてゐる

山東炭 山東省は河北省に次いで開發せられつゝある地區では省内石炭埋藏量は十六億噸で三百二十萬噸の出炭を見てゐるコークス資源としては一億三千萬噸と推定されてゐる中興煤礦公司の釋縣炭田一あるのみで他は大したものなく、無煙炭が多い、中興の出炭は百十二萬噸と稱せられてゐる

### 察哈爾と綏遠炭

最後に察哈爾省と綏遠省であるが前者はコークス用原料炭は乏しく後者は石拐溝炭田(埋藏量一億六百萬噸出炭六萬五千噸)を筆頭に董盛茂炭田(三千七百萬噸)楊遠陵炭(千九百九十萬噸)等がある云ふだけで、全く開發されて居らず未だに發見せられて居らないものも相當ある様である

北支五省に於ける石炭資源は山西に集中されて居り、其の半數がコークス用として使用し得るものと推定され、實に資源としては豊富だが、今後の問題は大規模出炭と大量消費の方法であつて經濟的輸送が出來なければ特殊炭でない限り移輸出は難しいと見られてゐる

### 北支アルミ資源

尙ほ北支方面には多量のアルミ資源が埋藏されてゐる、例へば長城粘土の如きは良質のアルミ資源として既にこれは大阪窯業の手で開發され日滿アルミ、住友、大阪窯業セメント等にアルミナ原料として供給されてゐる、尙ほ開瀾炭礦には豊富なアルミ原礦あり、これを興中公司が開發、年二十萬トンの原礦を日本へ供給する計畫の事である

### 開發の資金

以上、日滿支の重工業資源プロックの實情を大觀したが、これが開發に要する資金をどこから捻出するかは重大問題であり、滿洲に於ては主として日産が進出を期し、北支に於ては鐵道と鐵礦を滿鐵が經營し興中公司が東拓と結んで工業業へ進出を期してゐる然し滿洲に於ける國家的統制の進行が破綻に瀕してゐると云ふ事を口實に北支方面には自由投資を爲すべしと云ふ聲が三井、三菱等の大コンツェルンの間にあがりつゝあるのは注目し得る、何れにせよ、これは國家的指導力と三井、三菱、住友、古河等の大コンツェルンとの協同なくしては投資經營され得ないものであり國家と大コンツェルンが北支に於て如何なる投資形態を作り上げるか本年度の大きな觀物となるであらう。



## 彙報

### 製鐵所コークス 入札決定

十二月十七日數量二萬噸  
中粉ブリーズ共に強氣

八幡製鐵所コークス昨年最後の入札は舊臘十七日舉行されたが北越筋結氷期にて不需求要なるにも拘はらず中粉、ブリーズ共相當の高値にて聊か豫想外れの觀があつた、種別、數量、落札者は左の如くである

一號	中粒	一、五萬噸	横尾商店
二號	〃	一、五萬噸	同
三號	小粉	一、五萬噸	大彌商會
四號	未撰	二、〇〇〇	森直記
五號	〃	六、〇〇〇	片岡商店
六號	〃	三、二〇〇	森直記
七號	微粉	三、〇〇〇	横尾商店
八號	〃	二、五〇〇	同
九號	〃	三、〇〇〇	同

十號 〃 一、五萬噸 同  
十一號 〃 一、三〇〇 同  
以上何れも戸畑貯炭物にて引取は本年三月末である

### 地下の勞働に

#### 女礦夫愈よ再現

非常時女性の花形

銃後産業は非常時に目覺めた大和撫子の纖手に依て確保される礦山勞働取締緩和と共に一時石炭礦山から姿を消した女礦夫が再び鵜嘴をかついて颯爽として地下に潜り非常時女性の役を買つて出るこゝになつた……

非常時産業の母體として生産力擴充の原動力をなす石炭礦業は事變に依る礦夫應召、軍需工場への移動並にその補充難から全面的勞働価値を現出し、之が補給と勞働者取締規則の緩和は遂に社會問題化するに至り

社會局では昨秋石炭礦山勞働者就業時間の延長を認可して取締緩和の第一歩を踏み出したが勞働需要の歴史的激増は就業時間の延長位では追いつかない現状にあるので遂に昨年末十二月廿七日付を以て未成年者および婦女子等保護勞働者の石炭山入坑を認め秘かに礦山監督局に内達し新春と共に實施せられるこゝになつた、保護勞働者は國民保健向上の建前から去る昭和八年八月末を以て入坑を禁止され我が勞働史に一新紀元を劃したものであり、爲めに福岡礦山監督局管内に於て昭和元年石炭礦山勞働者總數の約三割を占めた女子勞働者は最近僅かに坑外夫夫として全體の八分程度に激減してゐたが入坑許可と共に再び激増するものとみられてゐる、尙今回の入坑認可に就いて社會局では之は飽く迄臨時的措置であり福岡管内西日本一帯にのみ適用又入坑範圍も薄層炭山に限定し、非常時によつて國民保健向上の根本方針を放棄したもので無

い點を強調してゐる

## 北で三菱兩王國大躍進 南で三井

樺太北部のみで

### 三百萬噸出炭計畫

三菱が積極的に乗出す

三菱礦業では時局に鑑み愈々樺太西海岸の惠須取及名好兩管内に亘る大礦區の開發に着手することに決定し、目下尢大なる事業計畫の下に着々準備進行中にあると傳へられてゐるが聞くところによれば、第一期計畫としてはこの四、五年中に北部地方から約三百萬噸の石炭を輸出する意圖の模様である、而して其の事業區域の頒布状態は現在の塔路炭礦の出炭を百萬噸までに増産し諸津礦區は六十萬噸、北小澤方面は百萬噸、幌岸及び小恩内方面各二十萬噸、合計三百萬噸を目標とするもので、諸津及北小澤は本年度から本格的採炭が計畫されており、幌岸及小恩内も一兩年中に着業する豫定であるとのことであるから數年後の樺太西海岸北部地方は三井、増田、樺太炭業、其他

の財閥の採炭事業の進展と共に文字通りの石炭王國を現出するものと見られてゐる

大牟田を中心に

### 石炭ラッシュ

軍需景氣の波に乗り

各種の企業も旺盛

我國石炭礦業界の王座九州に光る炭都大牟田……しかも昨秋赤痢菌の跳梁に世界流行病史に一大ポイントを残した大牟田市は、戦勝に燦々皇紀二五九八年を迎へて、今や甦生への警鐘を亂打して舉市一致新市長の物色に躍起なりつゝ、あるが、流石に塲所柄である丈に重工業陣營にも朗語横溢の躍進音が聞きならされやうと見られてゐる。

即ち三井經營の三池大炭田が年産三百萬噸の把握を實現せんとしてゐる外、燃料國策の重大使命に副ひ同社が建設中のフィッシュヤール法に依る石炭液化工場が二千萬圓の巨大な資本金を以て今年末にその一部の操業を開始せんとしてゐることである、また今年完成の成否は未定と云ひながら躍進大

牟田の一大礎石ともなるべきものと見られてゐる三井經營の新炭坑三川の開鑿工事の坑口開け工事が新春その第二階程に入り有明海底下に向ひ起長二四〇〇メートルの大斜坑二本の大穴をブチ開ける鶴嘴が猛進を續けてその本舞臺に乗ることになつてゐる、加之岸壁工事費百廿萬圓陸上施設五十萬圓の三池港内北岸壁工事も今年六月竣工の豫定であつたのが、非常時立法の臨時資金調整法の關係から明十四年一ぱいまで繰延べとなつたさはいへ、わが國最初の試みである潛園工法による一萬トン級汽船二隻積附となり得る最新式岸壁が終了することになるほか、縣營大牟田港の改修もその工事の第三年目に入るなど恵まれた海の便をより強く握り得ることになるわけだ、更に三井は隣接荒尾村に六十萬坪の用地買収に手をつくじてゐるが、これが纏まれば月内に石炭に基礎を果して染料關係の化學工場建設の股取りにならうと見られ、三井傍系工業として林三池礦業所長その他三井礦山現前重役を最高首腦部として舊臘誕生した山内炭礦株式會社も近く七百五十萬圓の資本金を以て山内三池兩郡境矢部川方面一

帶の試錐探鑛に着手せられんとして居り一方東洋セメント工業會長上田寧氏を御大みなす三池炭業株式會社も三百萬圓の資本金で市隣接銀水村において石炭採掘に着手せんとしてゐる、かくて炭都大牟田市は昭和十三年の新春を迎へて、軍需景氣の波に乗つて重工業陣營の一齊進出を開始せんとしてゐるが、彼此再考して見るべき同市の躍進音が我國燃料界に一大舞踊を齎すものと待望されてゐる (日刊燃料工業新聞)

鑛山行政も愈よ積極的に

### 本格的戦時體制化する

助長指導を目標として

整備擴充された陣容

戦時體制第二年を迎へた福岡鑛山監督局では、愈よ積極的鑛業行政から積極的助長指導行政を目標に陣容を整備擴充して非常時局に對處せんとしてゐる、今其の重要なものを拾へば

一、鑛業報國運動 當運動は相當長期に亘り實行することゝ單なる觀念運動乃至は労働強化のみに終らしめざるやう炭鑛

經營の根本に觸れて改善合理化へ向はしめ特に注目すべきは労働者の待遇問題で坑内勞賃は大體二圓廿五錢以上に維持せしめる様事業主に懇進する方針を持つてゐる

二、分駐所新設 議會通過は確實であるが本制度の確立により愈よ鑛山の技術的指導は強化される筈である

三、鑛産物の分析検査 舊臘監督局内の金銀分析検査室を擴充し年初より使用中であるが特に此外懸案の炭質検査も二月より開始される筈で其の成果は期待される要之、鑛政、鑛業兩部面に亘つて愈よ本格的戦時體制化が押し進められつゝあり、非常時局への對處陣營の鞏固を示してゐる (福岡日日)

### 炭山労働者の賃銀を

二圓五十錢以上の基準に

各炭坑へ要請する

石炭山に於ける労働力不足は戦時體制第二年を迎へて愈よ深刻化するものと豫想されるので之が對策として軍需工業其他への勞

働カ移動防止、遊層炭に於ける婦女子の入坑を或程度緩和すること、鮮人労働者の使用等諸方策が考究實施されんとしてゐるが炭山労働の根本對策は労働者の待遇改善、即ち勞賃の値上げ、福利施設の擴充にあり

とされ、豫て内務省社會局では軍需工業會社と炭鑛の勞賃に就き比較對照し研究中であつたが炭坑内労働者の賃銀は日給二圓二十五錢以上を妥當とするとの結論に達し福岡鑛山監督局に對し管内各炭鑛山勞賃の徹底的調査を依頼すること共に此の基準に達せざる鑛山に對しては警告方を要請して來たので、同局でも大體此の基準に従ひ待遇劣悪鑛山に對して改善方要請を一層勵行することとなつた (福岡日日)

### 鑛山勞務者補充に

全機能をあげて宣傳

取扱要項を制定各地に通牒

事業會社に福利

施設の改善も要求

軍需工業と鑛山業との間に労働者の争奪が



深刻化し成り行きを憂慮されてある折柄、職業者では本縣の特殊事情に鑑み、礦山側の勞務充足にも力積を入れる事になり、石炭山勞働者取扱要項を制定、近く縣下市町村長に通牒するに近々呼びかけられる筈だが、他方、礦山監督局も協力して事業主との協議會を開催の豫定である、さし當り現在の礦山勞務者不足数は約一萬、見られこれが補充に全機能をあげて周知宣傳に乘出すことになつてゐるが、事業會社に對し勞働條件並に福利施設の改善方を求めてゐる事は注目に價する、尙ほ取扱要項の内容は次ぎの通りである。

- ① 職業紹介所に於て石炭山勞働者の求人申込みを受けた時は勞働條件及び福利施設につき改善方を考慮するやう懇談し募集案内等參考資料となるべきものを添付すること。
- ② 縣職業課で内容調査の上各縣並に管内職業紹介所求人聯絡通報を發するに共に當該紹介所に何分の指示を行ふ。
- ③ 縣より求人通報を受けた紹介所は各關係機關と充分な聯絡をこころは勿論、スターその他印刷物の配付、揭示等宣傳

られこれが補充に全機能をあげて周知宣傳に乘出すことになつてゐるが、事業會社に對し勞働條件並に福利施設の改善方を求めてゐる事は注目に値する。

#### 取扱要項内容

- 一、職業紹介所に於て石炭山勞働者の求人申込みを受けた時は勞働條件及び福利施設につき改善方を考慮するやう懇談し募集案内等參考資料となるべきものを添付し直ちに縣へ送付すること。
- 二、縣職業課で内容調査の上各縣並に管内職業紹介所に求人聯絡通報を發するに共に當該紹介所に何分の指示を行ふ。
- 三、縣より求人通報を受けた紹介所は各關係機關と十分なる聯絡をこころは勿論、スターその他印刷物の配付、揭示等宣傳につこめること。
- 四、町村は更に關係機關と協調し求職者の募集に遺憾なきを期すること。
- 五、縣は礦業會より毎月通報を求め必要に應じ關係縣並に管内紹介所に通報すること。

(九州電氣界新聞)

につこめること。  
④ 町村は更に關係機關と協調し求職者の募集に遺憾なきを期すること。  
⑤ 縣は礦業會より毎月通報を求め必要に應じ關係縣並に管内紹介所に通報すること。  
(九州日報)

#### 香奠返しの歴卷

### 故金丸翁嗣子より 六萬六千圓を寄附

遠賀郡香月町故金丸勘吉翁の香奠返しとして嗣子熊太郎氏は國防獻金一萬圓のほか同地方各町村、團體などに對し左の如く廣範圍にわたる寄附金五萬六千圓を十五日各地に出張して寄附することとなつたが、實業界には稀に見る同翁生前の遺徳を偲ぶせるに十分なものがある。

- ▲國防獻金一萬圓 ▲皇軍慰問金五千圓
- ▲出征軍人遺家族救済費三千圓 ▲香月町尋常校建築費二萬五千圓 ▲同町消防組一千圓 ▲郷軍分會五百圓 ▲青年會二百圓 ▲處女會二百圓 ▲國婦會二百圓 ▲青訓器具購入費二百圓 ▲香月

#### 災害豫防重大使命に

### 戰時體制の脚光

#### 直方爆發豫防試驗所の 新看板と擴充費今議會へ

福岡礦山監督局直方石炭坑爆發豫防調所擴充豫算八萬九千圓が新豫算として今議會に提出され、其の通過と共に「直方爆發豫防試驗所」を改稱し福岡礦山監督局所管から商工省直轄となり、戰時體制の脚光を浴び災害豫防の重大使命を帯びて出現することとなつた。

同所は大正三年組合立として直方御館山に設立され、大正五年福岡礦務署に移管大正十四年一部を筑豊礦山學校敷地内に移轉、昭和五年完全に現地に移轉したもので、昭和十一年商工省令「礦山監督局受託試驗規則」公布と共に受託に應じて爆發豫防に大きな足跡を印して來たが、非常時局を契機とする石炭の増産強行は文字通り炭山の爆發的危険性を増大するに至り、炭礦器械の強制檢定試驗制度の實施が計畫され、之に伴ふ同所の擴充をみる運びに至つた譯である。

- 校六百圓 ▲同尋高校四百圓 ▲大辻校四百圓 ▲商工會三百圓 ▲後藤寺弓削田區一千圓 ▲同町獎學金一千圓 ▲嘉穂郡大分村同一千圓 ▲津屋崎町同五百圓 ▲木屋瀬町同三千圓 ▲遠賀村同五百圓 ▲岡垣村同一千圓 ▲古月村同五百圓 ▲小倉傷病兵慰問金五百圓

(大阪朝日)

#### 礦山勞務者充足のため

#### 福岡縣職業課

### 石炭山勞働者取扱 要項制定

全機能をあげ周知  
宣傳に乘出す

勞働者爭奪を挟んで軍需工業對礦山業との間の成行日々憂慮されてゐる折柄、福岡縣職業課では本縣の特殊事情に鑑み、礦山側の勞務充足にも力積を入れることになり、石炭山勞働者取扱要項を制定、近く縣下市町村長に通牒するに近々呼びかける筈だが、地方礦山監督局も協力して事業主との協議會を開催の豫定である、さし當り現在の礦山勞働者不足数は約一萬、見

#### 同官制草案は左の如し

- 一、本試驗所は商工大臣の管理に屬し炭礦内瓦斯炭塵爆發豫防法の調査研究及炭礦使用の爆發類、照明器具、電機機具、測光器等の檢定に關する事務を掌る、尙右研究事務に妨げなき限り従前通り受託試驗に應ずること共に、求により設備の一部を期間を限り使用せしめ得ることとする
- 一、商工大臣必要ありと認むる時は支所を置くことを得
- 一、試驗所には左の職員を置く  
所長一名、支所長一名、技師九名、屬二名、技手十六名  
(福岡日日)

#### 總工費七百六十八萬圓の

### 北九州工業用水事業

#### 新春と共に本格的に着手

多年の懸案であつた、總工費七百六十八萬圓の巨額を投じた北九州工業用水事業も新春と共に着手されることになつた、即ち工業用水に關む八幡小倉の兩市を始め北九州工業地帯の工業發展の死命を制する北九州工業用水大事業も昨冬の縣令でその豫算

が可決され、而もこの事業は寸刻の急を要するものだけに、縣土木部では河港課の和田技師を主任として、早くも新年明けの四日、用水池の中心地遠賀郡の中間町に出張せしめ、これに各土木管區から選抜された三十餘名の測量班員も参加して、中間町に中間集水池の測量を行ふことに決じ目下これが準備中であるが測量の迅速を期するため三十餘名の測量班員を六班に分けて同時に關係地の實地測量を行はしめ、来る十五日過ぎからその測量に基いて設計に着手し北九州工業用水事業事務局の開設も近日中に行はれるはずで、これが開設と同時にいよく本格的の着手を見ることになつた、これで工費七百六十八萬圓の一大事業も今や全くその緒につかんとし縣土木部では異常なはりきり方である (筑豊新聞)

### 撫順炭礦の

#### 事業計畫決定す

露天掘施設製油工場擴張など

龍鳳堅坑事業は中止

撫順炭礦次長太田雅夫氏は六日滿鐵本社を訪問、十三年度の事業計畫について打合せを行つたが終了後語る

炭礦の十三年度事業で最も主要なものは既に本社の豫算重役會で認められた如く併合露天掘の施設、發電所の増設および製油工場の擴張計畫の如き繼續的の事業を初めとして揚柏堡河、東沙河の水路變更等あり、何れも十三年度から十四年度にかけて完成を見ることとなつてゐる、就中發電所は十三年度において五萬キロの發電所を二ヶ所増設することとなつた結果完成の曉は總計二十八萬キロの能力を有し實に東洋一を誇ることとなるが、更に大斜坑の掘鑿工事も十四年度には完成の豫定である、東沙河、揚柏堡河の水路變更によつて古城子の露天掘りは現在の三百三十米の地底を三百五十米まで掘下げるこゝが出来、昭和製鋼所の増産計畫液化工場、製油工場の擴張にも充分備へられることになる、石炭液化工場も今夏八月ごろまでには完成を見るつもりである龍鳳堅坑の繼續事業は十三年度は都合によつて見合せとなつた (日刊工業)

### 解組、炭商、荷主を

#### めぐり運賃採む

若松解舟運賃値上問題

舊年より持越してゐた若松解舟組合の三百數十隻の解舟運賃値上問題は去る八日石炭商組合で荷主代表者協議會を行つた結果値上理由が炭價の値上りにあるのでこれを認められた場合は直に仲仕賃銀その他に波及するが如き擴大性も有するもの故炭商組合として値上げの交渉には應ぜず荷主と解舟と直接交渉にするが有利であるとの意見によつて九日深田理事からこの旨解舟組合代表に通告したが解舟組合では荷主と個々の交渉は解舟側に極めて不利益であり他まで炭商組合によつて處置されたし荷主側の回答を拒絶したので炭商組合では二、三日中に更に荷主會議を開き協議を行ふことになつたが値上げ要求二割五分を何程認めるか注目するところであると共にこれを認めたらは帆船運賃、仲仕賃銀にも影響するとして成行きを注目されてゐる (福岡日日)

## 石炭鑛業權設定 (自十二月下旬至十二月下旬)

### 福岡鑛山監督局管内

登録番號	鑛區所在地	面積	鑛業權者住所氏名
長崎 元七九	北松浦郡福島村並ニ海面	九七、〇〇〇	川口唯藏 外一人
佐賀 三三三	西松浦郡大川村地内	九六、四〇〇	三菱鑛業株式會社
長崎 五六〇	南松浦郡福江町本山地内	九〇、〇〇〇	鹿毛ケイ 外一人
全 三八一	同前地内	九二、〇〇〇	原田市榮
福岡 六四六	鞍手郡笠松村山口付地内	三六、九〇〇	清水信吉
全 六三九	遠賀郡水巻村地内	一、二、五〇〇	日本化學工業株式會社
佐賀 三三三	杵島郡北方村小城郡多久村地内	八〇、〇〇〇	多々見茂平
全 三三四	小城郡三日月村地内	九〇、〇〇〇	山口貞
長崎 五六二	南松浦郡三井樂村並ニ海面	九〇、〇〇〇	原田市榮
全 五六五	南松浦郡三井樂村地先海面	八五、〇〇〇	藤木小幹
福岡 六四〇	嘉穂郡大隈町地内	一、五、〇〇〇	田宮淳雄
佐賀 三三三	西松浦郡二里村東山代村地内	六九、五〇〇	羽田榮重
全 三三六	西松浦郡大川村地内	九六、八〇〇	三菱鑛業株式會社
長崎 五六四	北高來郡小野村地内	九四、六〇〇	井村千太郎
熊本 三〇五	天草郡二庄村坂瀬川村並ニ海面	六九、七九	藤田與兵衛外一人

福岡 六四三	遠賀郡遠賀村地内	八二〇,〇〇〇	飯塚市立岩	株式會社麻生商店
全 六四三	朝倉郡三輪村馬田村、甘木町	九三〇,〇〇〇	東京市小石川區高田老松町	岡商店
全 六四三	全 甘木町	一,〇〇〇,〇〇〇	全	全 人
全 六四三	立石村馬田村粕屋郡志賀島村地先海面	九三〇,〇〇〇	東京市京橋區銀座三丁目	西戸崎炭礦株式會社
全 六四三	早良郡遠島村地先海面	九三〇,〇〇〇	佐賀縣杵島郡武雄町	山口 峰
全 六四三	三井郡本郷村大堰村、朝倉郡小城村福田村	九二〇,〇〇〇	佐賀縣杵島郡武雄町	山口 峰
山口 四四八	馬田村	九二〇,〇〇〇	徳山市	西村 嘉吉
佐賀 三三〇	吉敷郡井關村並ニ海面秋穂二島村地先海面	九一〇,〇〇〇	福岡市古小島	山口 貞
全 三三〇	小城町三日月村	八八〇,〇〇〇	戸畑市戸畑	明治鑛業株式會社
福岡 六四三	小城郡西多村東松浦郡蔵木村相知町	八六〇,〇〇〇	佐賀縣杵島郡	山口 峰
佐賀 三三〇	三井郡本郷村大堰村太刀洗村	八七〇,〇〇〇	福岡市古小島	山口 貞
全 三三〇	小城郡三日月村小城町	七五〇,〇〇〇	佐賀縣杵島郡武雄町	山口 峰
熊本 三〇三	佐賀郡川上村小城村三日月村	八三〇,〇〇〇	熊本市新堀町	仁部 藏太
全 三〇三	天草郡一町田村高濱村	八六〇,〇〇〇	東京市大森區新井宿二丁目	神田 雷助
全 三〇三	八代郡下松求磨村金剛村高田村	六三〇,〇〇〇	東京市澁橋區角筈一丁目	東北鑛業株式會社
長崎 三〇三	玉名郡府本村六榮村	六三〇,〇〇〇	福岡市大名町一丁目	高須重彦 外二人
全 三〇三	東彼杵郡下彼佐見村小棚町	九三〇,〇〇〇	東京市日本橋區室町二丁目	杵島炭礦株式會社
福岡 六四三	西彼杵郡神浦村	一四八,七九九	同市同區通町一丁目	渡邊 祥三
佐賀 三三〇	嘉穂郡山田町大隈町	二六,〇〇〇	福岡縣嘉穂郡大隈町	久恒得郎 外一人
長崎 三三〇	杵島郡南有明村錦江村龍王村	九七,三〇〇	福岡縣嘉穂郡大隈町	草場 淺市
熊本 三〇三	北松浦郡南田平町並ニ海面	九七,〇〇〇	佐世保市比良町	草場 梅子
	天草郡牛深町	四一七,〇〇〇	佐世保市比良町	



# 互助會文藝

## 和歌

### 題 春季雜詠

杉廻舎主人選並添作

天地も右も草木もよろこひぬ、すめらみかどの御代の榮え  
を  
いやさかに君のみいづをことほぎて雪つむ庭に鳩のまひを  
り  
をちこゝに鳴り移りゆく新しき年のひききをしづもりて聞  
く  
大亞細亞あけゆく年のおちつかぬ春のさわめき酒くみかは  
す

(淺繪) (全) (五城窓)

× × ×

初霞たなひきてをり久方のひかりにうれし日の丸のはた  
(淺繪)

かそかなるものゝ命を集めたるひききのことし中尊寺のか  
ね (仙台中尊寺金色堂より) (五城窓)

大君の彌榮いのる國民の初春祝ふ千代に八千代に  
(白刃)

軍國の初春祝ふしめかざり軒毎に立つ日の丸の旗  
(全)

物みなを清めむ神のみこゝろか年のあしたに雪降りつもる  
(淺繪)

神杉のしめしらしくもみえそめてうぶすなの杜に初日かけ  
さす (五城窓)

選者 追詠

× × ×

二月 課題

一、梅花

二、鳩

門なみに立てつらねたる松かざりみやこ大路のさまぞかわれる。  
 (門松)  
 神佛いざみそなはせ汚れなき年のあしたの我心をば  
 (元旦)  
 去年の冬ふみにじりたるやちまたを雪に清めて年たちけり。  
 (新年雪)  
 さき草のにはふ一間に書そののすみすれをれば旭かげさす  
 (試筆)  
 うぶすなの神のやしろの初詣でみなねぎ事のかなふ心地す  
 (初詣)  
 休み日を子等はかぞへて初ごよみ又柱よりとりはづしたる  
 (初曆)  
 年とともに新しき歌よみいてむふるき机のちりをはらひて  
 (新年机)

一、を季題といひ 二、を雜題といふ、雜題には季を結ぶを得ず、季とは「鳩の翼に春風のふく」など、春、霞、梅、餘寒などなれば之を入れぬやうによむ事尙委しくは機を得て各位の詠草につきて申すべし。

俳句

題 新春雜詠

琴月園雷鳴雲先生選並添作

初詣で大吉を引く神籤かな。(杉堂)

凧の繪の海の荒鷲羽ばたけり。  
 (杉堂)  
 門並に旭旗輝く初日かな。  
 (全)  
 神々し五十鈴の奥の初かすみ。  
 (淺繪)  
 一つ家の古梅に立てし御旗かな。  
 (全)  
 戦跡におろがむ初日平和かな。  
 (全)

初東風御旗なびくや戦勝地。  
 (全)  
 陣中の雜者感話に賑はえり。  
 (山鹿廣市)  
 學童の伊勢詣するや國體美。  
 (全)  
 結婚を秘めて姉妹の初詣で。  
 (全)  
 戦捷の年賀もうれし日本晴。  
 (日本晴)  
 七草を祝ふ古式も家憲かな。  
 (全)  
 嬉しさや三十路の春も母の愛。  
 (全)  
 署名なき賀狀に筆蹟を繰り返す。  
 (紫川)  
 初風や島の小家の旗なびく。  
 (全)  
 初賣の文字太とくと勢いかな。  
 (全)  
 驚にふと見出しけり溪の梅。  
 (全)  
 追羽子を突きそれ行儀くづしけり。  
 (全)  
 妹がつく羽子童心にふれゆきぬ。  
 (全)  
 追羽子のおみなの緋袖ちらちらと。  
 (全)  
 老松の幹縫ふ蒼や初風ける。  
 (全)  
 結初や妹が大人に見榮えけり。  
 (全)  
 粒々の歸一や國の饅餅。  
 (屏山)  
 嫁か君しのび寄りけり鏡餅。  
 (全)  
 屠蘇の醉覺めてあくびを餘寒哉。  
 (五城窓)  
 旗立てゝ走る初荷や進軍歌。  
 (全)  
 顔のしわ延ばす陣中雜者哉。  
 (全)  
 妻や子とお雜者祝ふ夢はさめ。  
 (千草女)  
 軍國の初春祝ふ旗の波。  
 (白双)

川柳

題 隨意

琴月園雷鳴雲先生選並添作

しめかざり軒毎に立つ日の丸の旗。  
 (全)  
 初夢や戦地の倅と語らひぬ。  
 (全)  
 神前に國防服で初詣で  
 (全)  
 松かざり立てことほぐ勝いくさ。  
 (全)  
 選者追詠  
 許されて屠蘇に酔いたる姉妹かな。  
 (全)  
 數の子の老の齒音の若さ哉。  
 (全)  
 實演はスターつかれて聲を出し。  
 (淺繪)  
 初島田見せたい人の名をかぞへ。  
 (全)  
 寅年の崑モーニングいかめしく。  
 (全)  
 凶と出たみくじは三度引いて見る。  
 (全)  
 屠蘇きげん軍歌ばかりが飛び出て來。  
 (白双)  
 神前に國防服が勢揃ひ。  
 (全)  
 温泉がお宮ばかりに客とられ。  
 (全)  
 支那事變四十九錢(始終苦戦)の蔣介石。  
 (全)

漢詩

川口青庚

無敵皇軍

義勇元來男子誇。誰知中樞亦離家。  
挺身笑向戰場去。化作陣中一朵花。

支那事變偶感

震天動地爆聲響。劇彈如獸靡草叢。  
奮躍期屍從聖戰。歡呼萬歲敵都中。

荒鷲挺身隊

飛機爆彈與身投。自柱橋梁渡友儔。  
殉國誠心如鐵石。忠魂義魄護神州。

閑談

白刃生

○改曆に因んで、先づ曆の話を申し上げます。  
○一ヶ月二十八日、一年十三ヶ月といふ曆は、毎月の日数がみな二十八日で、一日、八日、十五日、二十二日が常に日曜で、毎月變らないところなどは頗る便利です。  
○世界中揃つて、この曆が行はれたらよからうと思ひます  
○一年十三ヶ月、毎月二十八日は三百六十四日で平年に一日足りません。

○この一日を「元日」として、七曜からも、十干、十二支からも除いて、全く白紙の日とし、一切の期限、期日にも入れず、利息もつかなければ家賃も無い呑ん氣な休日にしたら面白いでせう  
○元日の次に一月一日が來るといふ譯です。  
○閏年には三月二十八日の次に「末日」といふ全く空つぽな、元日同様な期かな休日を作ります。  
○一年に一日や二日無駄使ひをしても、ばちも當らないでせう。  
○世界に幾つもの標準時があつて、ロンドンの何時だから日本時間で何時何分になる、アメリカ西部標準時の何時何分だとか、まことに面倒です。  
○地球が太陽と向き合つた時をその場所の十二時とし、その正反對の時を午前零時とする考へ方によれば、百キロ隔て、も五十キロ離れても標準時が違ふ譯です。しかしこれでは煩雜過ぎて役に立ちません。内地と臺灣との一時間の時差まで無くしたのはこの道理です。  
○最も都合のいい場所を標準に、思ひ切つて世界中の時間を一つにし、二十四時間制の時計を使つて午前、午後を廢したら頗る便利であります。  
○かうなると、標準の決め方で、十五時に夜の明ける所や十二時に日が暮れる所や、眞晝に二十四時が來て、零時から次の日になるやうな所が出来るかも知れませんが、こんなことは、慣れ、ばなんでもないのでせう。



炭界日誌

一月四日(火)曇、小雨、小雪  
△午前十時より本社會議室に於て理事會開會。野上副社長武内專務以下各理事出席。  
一月五日(水)小雪  
△正午より若松市公會堂に於て炭商組合の新年宴會開催本社より中島出席。  
一月六日(木)晴  
△三池炭業株式會社創立總會資本金三百萬圓社長上田壽氏就任。  
△直方柳屋に於て本會副會長野上辰之助氏の歸朝歡迎會並に新年宴會開催。  
△宇部礦業組合初總會開會。  
一月七日(金)曇、小雪

△本社武内專務上京す。  
△一月以降のホンゲ一中塊炭屯當り三圓値上を發表さる。  
一月八日(土)曇、小雪  
△若松石炭小賣組合では家庭用炭の値上を發表去る一日より實施の旨關係方面に通知す。  
一月九日(日)小雪  
△本日より十五日迄昭和系各炭坑の礦業報國運動強調週間實施さる。  
△中鶴炭坑炭車逆走四名重輕傷。  
△野上副社長風戸主事上京す。  
一月十日(月)曇  
△午後一時より大阪燒燃懇談會開催。  
△伊田町三井小學校に於て福礦局長の礦業報國講演會開催

△午後六時綠屋に於て新若松驛長田中榮治氏歓迎會を兼ね  
十日會新年宴會開催本社より才津原出席。  
一月十一日(火)曇  
△興中公司在埋藏量二千万屯の華豐炭坑を接收す。  
一月十二日(水)晴後曇  
△帝燃總裁牧田環氏副總裁大淵三樹氏就任す。  
一月十三日(木)晴後曇  
△三池炭業は銀水村で地鎮祭執行着炭は七月の豫定。  
△古川目尾炭坑で炭車に激突一名即死。  
一月十四日(金)晴  
△岩崎炭坑落磐で採炭夫一名即死す。  
△鑛工聯合會に設置の福岡職工養成所初委員會開會。  
△商工省燃料局鈴木利用課長堀企業課長佐野技師は本日門  
司出帆北支の石炭石油需要狀況調査のため出張す。  
一月十五日(土)曇時々雨  
△藤井新目尾炭坑葬儀執行本會より吉賀出席。  
△製鐵所燃料課長伊藤泰治氏北支石炭調査の爲め出張す。  
△商工省燃料局參與會議開會。

一月十六日(日)曇時々晴  
△本會所屬炭坑第二回鑛業報國運動強調週開始、吉賀日  
産遠賀鑛業所に出張。  
△深坂炭坑勞務者慰安會(中間劇場)  
一月十七日(月)晴後曇  
△大阪府燃料報國運動週間、本日より向ふ一週間開催。  
一月十八日(火)晴  
△上京委員歸社、今朝九時二十分下關着富士號にて本社上  
京委員歸社す。  
△大同炭礦開發、蒙疆聯合自治委員會が暫定的に採掘に決  
定す。  
一月十九日(水)曇後雨  
△故金丸會長五七日法要は本日香月町金丸家に於てしめや  
かに營まる。  
一月二十日(木)曇後晴  
△東京石炭協進會を設立鑛主側と供給方策に付協議す。

編輯後記

昨二十一日本會主催の下に小倉市勝山劇  
場に於て皇軍傷病兵將士の慰安會を開催し  
た。小倉陸軍病院々長濱田要三大佐、川口  
丁次郎陸軍藥劑中佐を初め衛生看護兵、白  
衣の勇士千餘名は四十臺のバスにて會場に  
繰り込み、本會より野上副社長、赤司、才  
津原、中島、井本、古賀、中安の各社員、  
愛國婦人會小倉分會役員五十餘名の接待に  
て辨當茶菓の饗應を受け、久し振りの外出  
に鬼をも挫く勇士達は恰かも小童の如く嬉  
々としてはじやぎ天勝一行獨特の奇術、花  
の如き美少女のレヂュー喜歌劇に爆笑又爆  
笑大いに浩然の氣を養ひ盛會裡に四時散會  
した。

支那事變下最初の通常議會として歴史的

使命をもつ第七十三回帝國議會は、今二十  
二日愈々再會され、長期戦体制下に戦争目  
的達成の爲に、所要の豫算案と幾多の重要  
法案を順上に眞摯なる論議が開始されるこ  
と、なつた。即ち本日午前十時より貴族院  
の本會議頭近衛首相は帝國不動の國是、  
支那事變に對處する政府の決意、財政、産  
業、内政の諸問題に對する力強い一般施政  
方針演説を行ひ、次いで廣田外相より事變  
下に於ける外交方針の演説があつて後杉山  
米内兩軍部大臣より戦況の報告と今後に處  
する軍の斷乎たる決意を表明した。

過去數年間唯一の野黨を以て自他共に任  
じた無産黨の社會大衆黨ですら、過般の黨  
大會に於て近衛内閣支持を表明し、茲に名  
實共に舉國一致体制は強化された。これが  
眞に日本人の日本人たる所以である。

(一月二十二日白刃生)

互助會報 第三卷 第一號

購 一冊 金參拾錢 郵稅共  
半年分 金壹圓八拾錢同上  
一年分 金參圓六拾錢同上  
料金は前金の事

昭和十三年一月十七日印刷納本  
昭和十三年一月二十日發行

若松市本町二丁目  
石炭鑛業互助會  
發行人 風戸 道康  
編輯人 若松市本町三丁目  
印刷所 吉田 万造  
若松市本町三丁目  
印刷所 吉田 印刷所  
電話 六五二番

發行所 石炭鑛業互助會  
若松市本町二丁目  
電話 七三〇六七九番

